

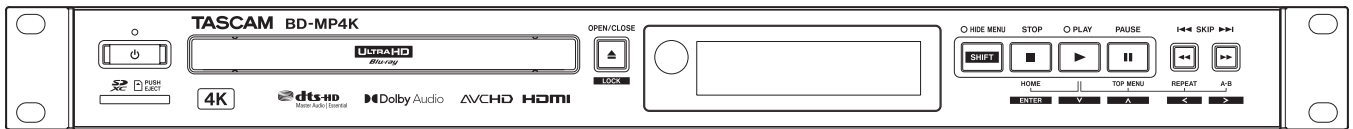
# TASCAM

D01384601D

# BD-MP4K





## BLU-RAY DISC™ PLAYER




取扱説明書









## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。


	<b>警告</b>	以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く		万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 お買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)に修理をご依頼ください。
 指示		<b>電源プラグにほこりをためない</b> 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年1回くらい)に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止		<b>電源コードを傷つけない</b> 電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない <b>電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近付けて加熱したりしない</b> コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)に交換をご依頼ください。 <b>付属の電源コードを他の機器に使用しない</b> 故障、火災、感電の原因となります。 <b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない</b> この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。 <b>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して設置する</b> ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10cm以上の隙間を空ける隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。 <b>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない</b> 火災・感電の原因となります。 <b>この機器の通風孔をふさがない</b> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



	<b>警告</b>	以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 禁止		<b>機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない</b> 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止		<b>この機器のカバーは絶対に外さない</b> カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理はお買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)にご依頼ください。 <b>この機器を改造しない</b> 火災・感電の原因となります。




	<b>注意</b>	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	電源プラグをコンセントから抜く	移動させる場合は、電源のスイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。 旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。
	指示	オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する 電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となる場合があります。 この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。 この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
	禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。
	禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。
	注意	5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)にご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

## 電池の取り扱いについて

本機に付属するワイヤレスリモコンは、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

<b>警告</b>		乾電池に関する警告
	禁止	乾電池は絶対に充電しない 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

<b>警告</b>		電池に関する警告
	強制	電池を入れるときは、極性表示(プラスとマイナスの向き)に注意し、電池ケースに表示されている通りに正しく入れる 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。 長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となる場合があります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
	禁止	指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する場合があります。 炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

<b>注意</b>		電池に関する注意
	禁止	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となる場合があります。
	分解禁止	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
	注意	保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。 使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法にしたがって捨ててください。

# 目次

はじめに.....	5	USBメモリーを取り外す.....	29
本製品の構成.....	5	パネルロック機能.....	30
本書の表記.....	5	ロック状態のときに.....	30
本機の概要.....	5	リモートコントロール.....	30
商標および著作権に関して.....	6	BD-Live!について.....	30
設置上の注意.....	7	再生可能なメディアについて.....	31
ユーザー登録について.....	8	再生可能ファイル(ビデオ、オーディオ、または画像).....	31
結露について.....	8	メディアの再生.....	31
製品のお手入れ.....	8	自動再生について.....	31
電源について.....	8	ビデオディスクの再生.....	31
アフターサービス.....	8	再生を再生待機状態にする.....	32
ディスクの取り扱いについて.....	8	再生を停止する.....	32
SDカード/USBメモリーについて.....	9	早戻し/早送りサーチ.....	32
取り扱い上の注意.....	9	前後のチャプター/トラックにスキップする.....	32
各部の名称と働き.....	10	スロー再生.....	32
フロントパネル.....	10	一部のシーン(またはトラック)をリピート再生*する.....	32
リアパネル.....	11	チャプター、タイトル(またはトラック)をリピート再生*する.....	32
ワイヤレスリモコン(TASCAM RC-BDMP4K).....	12	特定の再生時間、またはシーン(トラック)にジャンプする.....	33
HOME画面.....	14	USBメモリー/SDカード/DATAディスク/ネットワークドライ ブの再生.....	33
ディスク.....	14	USBメモリー/SDカード/DATAディスクのプレイリスト再生...	34
メディア.....	14	プログラム再生する.....	36
USBメモリー/SDカード/DATAディスク/ネットワークドライ ブ内のファイルを再生する場合.....	15	ブックマークを設定する.....	37
プレイリストにファイルを追加/解除する場合.....	15	写真の再生.....	37
設定.....	17	本機での音量調整.....	37
基本設定.....	17	本機でのミュート.....	37
映像設定.....	20	モニター画面の情報バー (ON SCREEN)について.....	38
オーディオ設定.....	23	スピーカー設定について.....	39
システムインフォメーション.....	24	チャンネル構成.....	39
ラックマウントアングルの取り付け.....	24	テストトーン.....	41
接続する.....	25	ネットワーク接続について.....	42
HDMI接続のAVアンプなどを使う場合の接続例.....	26	オプションメニュー.....	44
ディスプレイ画面.....	27	基本設定.....	44
リモコンを準備する.....	28	トラブルシューティング.....	48
乾電池の入れ方.....	28	仕様.....	50
乾電池の交換時期.....	28	定格.....	50
乾電池についての注意.....	28	出力定格.....	50
ワイヤレスリモコンを使う.....	28	コントロール入出力定格.....	51
電源のオン/オフ.....	28	オーディオ特性.....	51
ディスクをセットする/取り出す.....	29	一般.....	51
ディスクをセットする.....	29	寸法図.....	52
ディスクを取り出す.....	29	ソフトウェアなどに関する重要なお知らせ.....	53
SDカードを挿入する/取り出す.....	29	GNU GPL適用ソフトウェアに関するお知らせ.....	53
SDカードを挿入する.....	29		
SDカードを取り出す.....	29		
SDカードのライトプロテクトスイッチについて.....	29		
USBメモリーを挿入する/取り外す.....	29		
USBメモリーを挿入する.....	29		

## はじめに

このたびは、TASCAM BLU-RAY DISC PLAYER BD-MP4Kをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト(<https://tascam.jp/jp/>)からダウンロードすることができます。

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱装箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 本体 ..... x 1
- 電源コード ..... x 1
- ワイヤレスリモコン (TASCAM RC-BDMP4K) ..... x 1
- 単4形乾電池 ..... x 2
- ラックマウントビスキット ..... x 1
  - キット同梱品
  - アンクル (L/R) ..... x 2
  - 取り付けネジ (アンクル用) ..... x 6
  - 取り付けネジ (ラック用) ..... x 4
  - ワッシャー (ラック用) ..... x 4
- 取扱説明書 (本書、保証書付き) ..... x 1

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 「SD/SDHCメモリーカード」のことを「SDカード」と表記します。
- 「USBフラッシュドライブ」のことを「USBメモリー」と表記します。
- 「CD-DA」形式のことを「オーディオCD」形式と表記する場合があります。また、オーディオCD形式のトラックを記録したCDを「オーディオCD」と表記する場合があります。
- MP3ファイルやWMAファイルを記録したCDを「データCD」と表記します。
- 現在選択中の入力ソースのことを「カレントソース」と表記します。
- 現在選択中のフォルダーのことを「カレントフォルダー」と表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

### ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

### 注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

### ⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

## 本機の概要

- 4K Ultra HD BD, Blu-ray Disc, DVD, CDの再生が可能
- exFATファイルフォーマットに対応。SDカード(SD/SDHC/SDXC)、USBメモリから各種フォーマットの動画、静止画、音声ファイルの再生が可能。
- BD/4K UHD BD, DVD, CD-DAのパワーオンプレイ対応
- シームレスリピート：チャプター、タイトル、A-B
- ラストメモリー機能 (ディスクメディアのリジューム再生)
- 誤操作による事故を防止する多彩なロック機能 (パネルロック、IRリモートロック、トレーロック)
- HIDE MENUでコンテンツのみの表示が可能
- Gigabit EthernetまたはRS-232Cによる外部制御に対応
- HDMI 2.0映像音声出力、HDMI 1.4オーディオ出力装備、XLRバランスオーディオ出力、RCA 7.1chオーディオ出力 (RCAアンバランス)、RCA ステレオ出力、SPDIF/Dolby/DTSデジタル出力(coaxial)
  - \*これらの出力を同時に利用可能 (HDMI2.0とHDMI1.4が同時に接続された場合の音声出力はHDMI1.4のみ)
- オーディオ出力のボリューム調整機能装備 (0dB ~ -40dB)
- USB3.0端子をリアに装備、高速データ転送が可能
- Sambaに対応し、サーバー経由でコンテンツの再生が可能
- IRリモコン付属(RC-BDMP4K)
- 堅牢な板金筐体
- 1Uラックマウントサイズ

## 商標および著作権に関して

- 保護されたコンテンツを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合  
詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. The use of Rovi Corporation's copy protection technology in the product must be authorized by Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.
- Cinavia™  
Cinaviaの通告  
この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。Cinavia技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com>のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。この製品はVerance Corporation(ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。  
CinaviaはVerance Corporationの商標です。  
Copyright 2004-2016 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- Dolby, Dolby Vision, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories.



- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.



- Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)、BD-Live™、BONUSVIEW™、Ultra HD Blu-ray™ 及び 関連ロゴはブルーレイディスクアソシエーションの商標です。



- "DVD Logo" はDVDフォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。



- HDMI, HDMIロゴ, High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々における、HDMIライセンスの商標または登録商標です。



- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



- "AVCHD" および "AVCHD" ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。





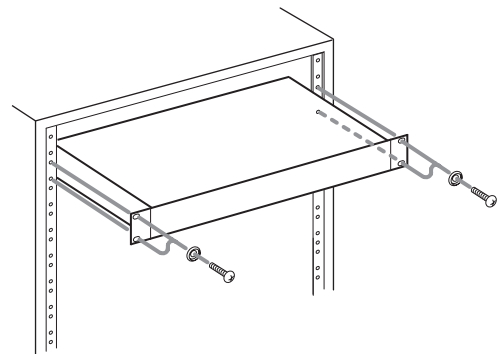
- "x.v.Color" および "x.v.Color" ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

## x.v.Color

- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## 設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
  - 振動の多い場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所
  - ほこりの多い場所
- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスケットを使って、下図のように取り付けてください。なお、ラック内部では、本機の上に1U以上のスペースを空けてください。



## ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願い致します。

製品をご登録いただくと、登録された製品に関する更新があった際などお知らせを受け取ることが出来ます。

<https://tascamid.tascam.jp/int/login/>

## 結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

## 製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

## 電源について

- 付属の電源コードを AC IN端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- AC100V(50-60Hz)以外の電源には、接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

## アフターサービス

- この製品には、保証書が添付(巻末に記載)されています。大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター(巻末に記載)が無償修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。

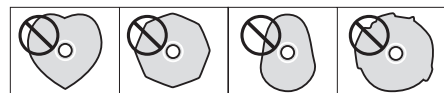
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責については、ご容赦ください。

本機を使ったSDカード/USBメモリーなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

- 型名、型番(BD-MP4K)
- 製造番号(Serial No.)
- 故障の症状(できるだけ詳しく)
- お買い上げの年月日
- お買い上げの販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## ディスクの取り扱いについて

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- ディスクは、トレーガイドに合わせて、水平に載せてください。
- 記録面(レーベルがない面)には、触れないでください。指紋や脂などが付着していると、再生するときにエラーの原因になることがあります。
- 記録面に指紋やほこりが付いたら、柔らかい布を使って中心から外側に向かって軽く拭いてください。
- ディスクの汚れは、画質や音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。
- ディスクの清掃に、レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの化学薬品を使用することは絶対お止めください。表面が変質して再生不能になる恐れがあります。
- ディスクにラベルなどを貼ることはおやめください。盤面にゼロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは、使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなる、または故障の原因となることがあります。
- 市販のディスク用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できない、または故障の原因になります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や名刺形、八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。



- いくつかのレコード会社より「コピーコントロールCD」と銘打った著作権保護を目的としたディスクが販売されています。これらはCD規格に則っていないディスクも存在するため、本機で再生できない場合があります。

### メモ

再生できないディスクを入れた場合、またはディスクを裏返しに入れた場合は、本機のディスプレイに“NO DISC”を表示します。

### 注意

- ディスクは、1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。



---

## SDカード/USBメモリーについて

---

本機では、SDカード/USBメモリーを使って再生を行います。  
本機にて動作が確認されたSDカード/USBメモリーのリストが、TASCAMのウェブサイト(<https://tascam.jp/jp/>)に掲載されています。本機の製品ページをご参照ください。もしくは、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。

---

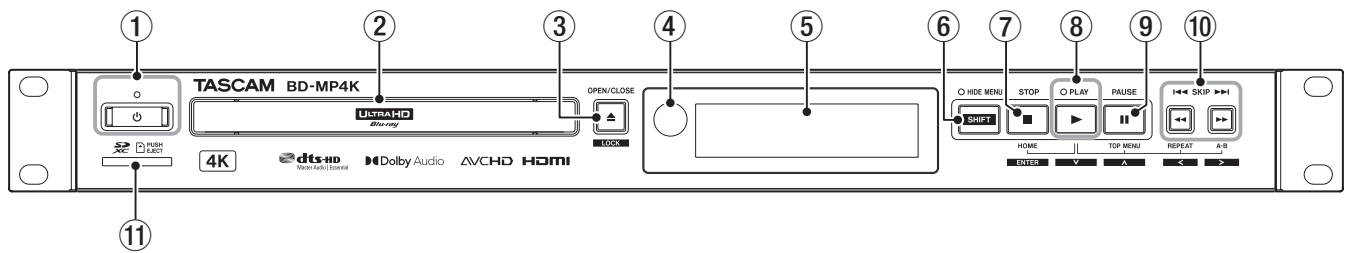
### 取り扱い上の注意

SDカード/USBメモリーは、精密にできています。  
SDカード/USBメモリーの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

# 各部の名称と働き

## フロントパネル



### ① 電源 / インジケータ

電源のオン / オフ (スタンバイ状態) の切り換えを行います。  
インジケータは、電源がオフ (スタンバイ状態) の時は " 赤 "、  
オンの時は " 緑 " に点灯します。

#### ▲ 注意

電源をオンにする前には、接続機器の音量を最小にしてください。  
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

#### 注意

本機がメディアの再生中、または SD カード / USB メモリーから  
データを読み込み中に、電源のオン / オフをしたり電源ケー  
ブルを抜いたりしないでください。本機が正常動作をしなかつたり、  
SD カード / USB メモリーのデータを破損したりする可能性が  
あります。

### ② ディスクトレイ

**OPEN/CLOSE [LOCK]** ボタンを押してディスクトレイを開け、  
ディスクのセット / 取り出しを行います。ディスクトレイを閉じ  
るときは、**OPEN/CLOSE [LOCK]** ボタンを押します。

### ③ OPEN/CLOSE [LOCK] ボタン (▲)

ディスクトレイを開閉します。  
**HIDE MENU [SHIFT]** ボタンと同時に押すと、フロントパ  
ネルのロック機能が有効になります。  
この操作をするたびにロック機能が切り換わります。(→  
30ページ「パネルロック機能」)

### ④ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、  
リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

### ⑤ ディスプレー

各種情報を表示します。

### ⑥ HIDE MENU [SHIFT] ボタン / インジケータ

HIDE MENU 機能が有効になり、HOME 画面のアイコンや、  
再生、一時停止などのアイコンをモニターに表示しないように  
します。HIDE MENU が有効な時は、ボタン上部のインジケ  
ータがオレンジ色に点灯します。  
また、このボタンを押しながら ③ または ⑦ ~ ⑩ のボタンを押  
すと各ボタンの操作が白抜き文字で表示された機能 (シフトモ  
ード) になります。(→ 11 ページ「シフトモードの本体ボタ  
ンの組み合わせ動作」)

### ⑦ STOP [ENTER] (HOME) ボタン (■)

ビデオファイルの再生中 / 再生待機中やサーチ中に押すと、現  
在の動作を停止して HOME 画面に戻ります。  
オーディオファイルの再生中 / 再生待機中、またはサーチ中に  
押すと、再生やサーチを停止します。  
また、HOME 画面や初期設定画面で **HIDE MENU [SHIFT]** ボ  
タンと同時に押すとシフトモードになり、**[ENTER]** ボタン (実行)  
として機能します。  
**PLAY[▽]** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、**[HOME]**  
ボタンとして機能します。

### ⑧ PLAY[▽] ボタン (▶) / インジケータ

メディアの停止中 / 再生待機中に押すと、再生を開始します。  
再生中はインジケータが " 緑 " に点灯し、再生中以外は消灯し  
ています。  
また、HOME 画面や初期設定画面で **HIDE MENU [SHIFT]** ボ  
タンと同時に押すとシフトモードになり、カーソルの下移動 [▽]  
ボタンとして機能します。  
このボタンを押しながら ⑦、⑨、⑩ のいずれかのボタンを押と、  
それらのボタンの操作が特殊機能 (このボタンと繋がれた表示)  
になります。

### ⑨ PAUSE [∧] (||) ボタン (TOP MENU)

メディアの再生中に押すと、再生待機状態になります。  
また、HOME 画面や初期設定画面で **HIDE MENU [SHIFT]** ボ  
タンと同時に押すとシフトモードになり、カーソルの上移動 [∧]  
ボタンとして機能します。  
**PLAY[▽]** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、**[TOP**  
**MENU]** ボタンとして機能します。

### ⑩ SKIP [◀] / [▶] [◀] / [▶] ボタン (◀▶) / (REPEAT) / (A-B)

メディアの再生中 / 再生待機中に押すと、前または次のチャプ  
ターまたはファイルにスキップします。  
(スキップ後に再生を開始します。)  
メディアの再生中 / 再生待機中に、長押しすると早戻し / 早送り  
サーチを行います。長押しを行う毎にサーチスピードが5段階  
で切り換わります。  
(サーチ中に再生や再生待機中に戻る場合は、**PLAY[▽] (▶)**  
ボタンまたは **PAUSE [∧] (||)** ボタンを押します。)  
また、HOME 画面や初期設定画面で **HIDE MENU [SHIFT]** ボ  
タンと同時に押すとシフトモードになり、カーソルの左右移動  
[◀] / [▶] ボタンとして機能します。  
**PLAY[▽]** ボタンを押しながら **▶▶** ボタンを押すと **[REPEAT]**  
ボタンとして、**PLAY[▽]** ボタンを押しながら **◀◀** ボタンを押  
すと **[A-B]** ボタンとして機能します。

### ⑪ SD カードスロット

SD カードを挿入するカードスロットです  
挿入した SD カードからビデオファイルや音楽ファイルなどを  
再生します。また、ファームアップデートの際は更新ファイル  
を読み込みます。

#### 注意

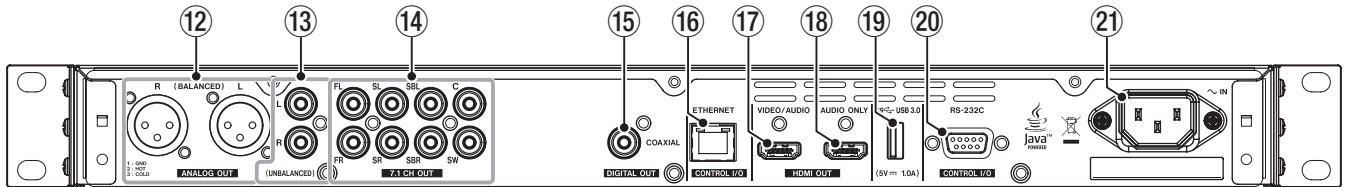
SD カードを使ってファームアップデートする時は USB 端子  
には何も接続しないでください。また、USB メモリーを使って  
ファームアップデートする時は SD カードスロットには SD カ  
ードを挿入しないでください。

## シフトモードの本体ボタンの組み合わせ動作

本体ボタンの組合せ	ボタンの操作	動作
SHIFT ▲	同時押し	ロックを設定します。
SHIFT ■	同時押し	決定(または実行)します。
SHIFT ▶	同時押し	∨ (カーソル下)
SHIFT	同時押し	∧ (カーソル上)
SHIFT ◀◀	同時押し	◀ (カーソル左)
SHIFT ▶▶	同時押し	▶ (カーソル右)

本体ボタンの組合せ	ボタンの操作	動作	
▶	■	同時押し	HOME画面を表示します。
▶		同時押し	ディスクのトップメニューを表示します。
▶	◀◀	同時押し	リピートメニューを表示します。
▶	▶▶	同時押し	A-Bリピートを設定します。

## リアパネル



### ⑫ ANALOG OUT(BALANCED)L/R 端子

アナログ出力端子 (XLR バランス) です。  
オーディオ信号を外部スピーカー、アンプなどに送信します。  
接続には、XLR ケーブルを使用します。

### ⑬ ANALOG OUT(UNBALANCED)L/R 端子

アナログ出力端子 (RCA アンバランス) です。  
オーディオ信号を外部スピーカー、アンプなどに送信します。  
接続には、RCA ケーブルを使用します。

### ⑭ 7.1 ch Audio OUT(UNBALANCED) 端子

7.1 ch のアナログ出力端子 (RCA アンバランス) です。  
8系統のオーディオ信号を7.1 ch サラウンドシステムに送信します。  
接続には RCA ケーブルを使用します。

### ⑮ DIGITAL OUT(COAXIAL) 端子

デジタルオーディオ出力端子 (COAXIAL) です。  
デジタルオーディオ信号を外部スピーカー、アンプなどに送信します。  
接続には同軸 (75Ω) ケーブルを使用してください。

### ⑯ ETHERNET 端子

イーサネット端子です。  
本機をネットワーク接続し、ネットワークドライブにあるファイルを再生したり、外部のパソコンから本機を制御することができます。  
また、インターネットに接続することで、BD-Live コンテンツにアクセスすることもできます。  
接続にはカテゴリ 5e 以上の STP ケーブルをご使用ください。

### ⑰ HDMI VIDEO/AUDIO 端子

HDMI 端子から音声 / 映像信号を送信します。  
接続には HDMI ケーブルを使用してください。

#### メモ

- 4K UHD BD, 2160p 60Hz などの高精細な映像を使用するときは、対応したモニターに18Gbps対応のプレミアムハイスピードHDMIケーブルで接続してください。
- 2160p 30Hz および3Dの映像を使用するときは、対応したモニターにハイスピードHDMIケーブルまたはプレミアムハイスピードHDMIケーブルで接続してください。
- HDMI VIDEO/AUDIO端子をHDMI2.0に対応していないAVアンプにつないだ場合、AVアンプのスルーアウトをモニターにつないでも4Kでの出力はできません。

### ⑱ HDMI AUDIO ONLY 端子

HDMI 端子から音声信号を送信します。  
この端子から映像信号は送信されません。  
接続にはHDMIケーブルを使用してください。

#### メモ

- HDMI2.0に対応していないAVアンプを使うときはこの端子にAVアンプをつないでください。
- この端子にモニターにつないだ場合は「このHDMI端子はオーディオ専用です。AVアンプに接続してください」と表示されます。

### ⑲ USB 3.0 端子

USB メモリーを挿入 / 取り外します。  
挿入したUSBメモリーからビデオファイルや音楽ファイルなどを再生します。  
また、ファームアップデートの際は更新ファイルを読み込みます。

#### 注意

SDカードを使ってファームアップデートする時はUSB端子には何も接続しないでください。  
また、USBメモリーを使ってファームアップデートする時はSDカードスロットにはSDカードを挿入しないでください。

### ⑳ RS-232C 端子

D-Sub 9ピンのRS-232Cコントロール用I/O端子です。  
外部のパソコンとRS-232Cケーブルで接続し、本機を制御することができます。

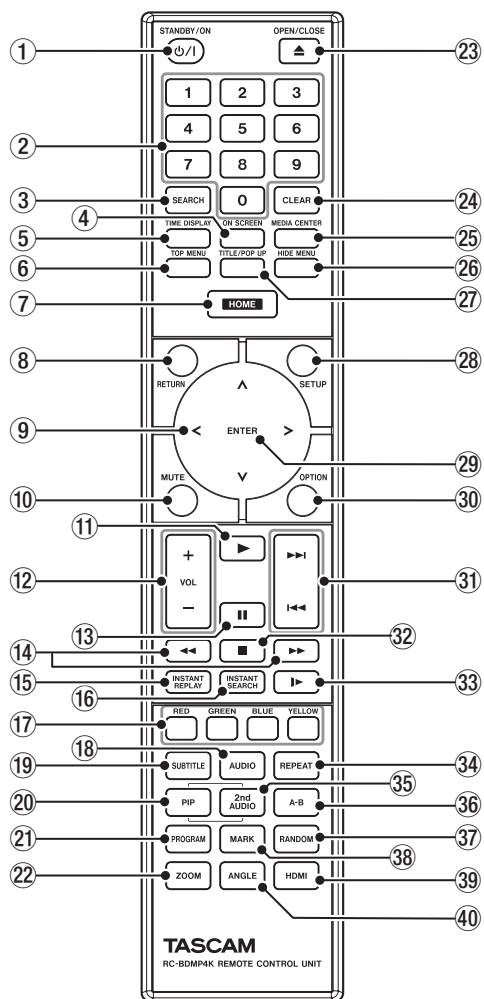
### ㉑ AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

#### 注意

本機の電源供給には、必ず付属のコードをお使いください。  
それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

# ワイヤレスリモコン(TASCAM RC-BDMP4K)



## ① 冂/I (STANDBY/ON) ボタン

本体の冂 ボタンと同じ動きをします。

### ⚠ 注意

電源をオンにする前には、接続機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

## ② 数字ボタン (0 ~ 9ボタン)

メディアの再生中 (画面にオプションやサーチメニューが表示中は除く) に数字ボタンを使って、チャプターまたはオーディオトラック番号を指定して選択することができます。(→33ページを参照)

## ③ SEARCH ボタン

メディアの再生中 / 再生待機中に押すと、メディア再生時間内で任意の時間指定が可能です。

ボタンを押すと、モニター画面の上部に情報バーを表示します。その情報バー内の時間表示部 (右上) にカーソルが20秒間表示されますので、カーソル表示中に ENTER ボタンを押すと、任意の再生時間を数字ボタンで入力可能です。また、[時 / 分 / 秒] の移動は、カーソル表示中にカーソルボタン [◀]/[▶] で選択可能です。

## ④ ON SCREEN ボタン

ビデオディスクの再生中に押すと、モニター画面の上部に現在の状態を確認する情報バーを表示します。

## ⑤ TIME DISPLAY ボタン

時間表示を切り換えます。時間表示の切り換えは38 ページの「モニター画面の情報バー (ON SCREEN) について」の「⑤ 再生時間表示」を参照してください

## ⑥ TOP MENU ボタン

ビデオディスクの再生中に押すと、トップメニュー画面を表示します。

メニューの移動は、カーソルボタン [◀]/[▶]/[へ]/[へ] で移動し、選択実行は ENTER ボタンで決定します。

## ⑦ HOME ボタン

このボタンを押すと、現在の動作を停止してHOME画面に戻ります。

## ⑧ RETURN ボタン

HOME画面を操作中に押すと、1つ前のメニューに戻ります。ボタンを繰り返し押すと、トップメニューまで戻ります。

## ⑨ カーソルボタン [◀]/[▶]/[へ]/[へ]

HOME画面で、押すと設定項目の移動が可能です。

また、ビデオファイルのトップメニュー画面、タイトルメニュー画面または再生中のオプションメニュー画面では、メニューの移動が可能です。

## ⑩ MUTE ボタン

本機の音声がミュートされます。(モニター上にアイコンを表示)

## ⑪ ▶ ボタン

本体のPLAY [▶] (▶) ボタンと同じ動きをします。

## ⑫ + / - ボタン (VOL)

メディアの再生中 / 再生待機中に押すと、音声ボリュームの調整が可能です。

## ⑬ II ボタン

本体のPAUSE [⏸] (II) ボタン (TOP MENU) と同じ動きをします。

## ⑭ ◀▶ ボタン

メディアの再生中 / 再生待機中に押すと、早戻し / 早送りサーチを行います。

このボタンを押す度にサーチスピードが5段階で切り替わります。

- BDMV, BDAV, DVD-VIDEO, DVD-VRなどの映像ディスクの早戻し / 早送りサーチ中に PAUSE ボタン (II) を押すと再生待機中になります。その際、もう一度 ▶▶ ボタンを押すと再生に戻り、◀◀ ボタンを押すと早戻しサーチに戻ります。
- オーディオCDや動画または音声ファイルの早戻し / 早送りサーチ中に PAUSE ボタン (II) を押すと再生待機中になり、もう一度同じボタンを押すと早戻し / 早送りサーチに戻ります。

## ⑮ INSTANT REPLAY ボタン

再生、一時停止、サーチ、スロー再生中に押すと10秒前に戻り、通常で再生を開始します。BDMV、DVD Video および動画オプションメニューでインスタントリプレイを選択したときと同じ動作をします。

## ⑯ INSTANT SEARCH ボタン

再生、一時停止、サーチ、スロー再生中に押すと30秒間早送りした後、通常で再生を開始します。BDMV、DVD Video および動画オプションメニューでインスタントサーチを選択したときと同じ動作をします。

### ⑰ カラーボタン (RED/GREEN/BLUE/YELLOW)

Blu-ray ディスクや DVD のメニュー画面などで使います。

### ⑱ AUDIO ボタン

ビデオディスクの再生中に押すと、モニター画面の左上に現在のオーディオ設定が表示されます。

このボタンを繰り返し押すと、押す度に使用可能なオーディオ設定を表示し、音声切り換えが可能です。

表示するオーディオ設定は、ビデオディスクでサポートされている設定に依存します。

例として、DVD ディスクではステレオ・モノ・Lch または Rch を選択でき、ブルーレイディスクでは DTS-HD MA(マスターオーディオ) または Dolby Digital を様々な言語で選択できます。

### ⑲ SUBTITLE ボタン

ビデオファイルの再生中に押すと、字幕の表示スタイルを変更することができます。

利用可能な設定は、ビデオが対応している字幕言語によって異なります。

### ⑳ PIP ボタン

ピクチャー・イン・ピクチャー機能のオン/オフを切り換えます。この機能は、対応するディスクでのみ使用できます。

### ㉑ PROGRAM ボタン

特定の順序で再生するトラックを選択するためのプログラムページが表示されます。

### ㉒ ZOOM ボタン

選択した画像の表示中に押すと、拡大/縮小が可能です(現在、表示中のサイズをモニター上に表示します。)

ボタンを繰り返し押すと、等倍から下記のサイズで変化します。(モニター表示無し: 等倍)

- 縮小サイズ: モニター表示 [1/4]、[1/3]、[1/2]
- 拡大サイズ: モニター表示 [2x]、[3x]、[4x]

### ㉓ ▲ ボタン (OPEN/CLOSE)

本体の OPEN/CLOSE [LOCK] ボタンと同じ動きをします。

### ㉔ CLEAR ボタン

現在入力中のフィールド項目の値を消去します。

ブックマーク一覧では、選択したブックマークを消去します。

### ㉕ MEDIA CENTER ボタン

メディア画面 (HOME 画面でメディアアイコンを選択した状態で、ENTER ボタンを押したときに表示される画面) を表示します。映像ディスクまたは動画ファイルを再生中はこのボタンは使えません。

### ㉖ HIDE MENU ボタン

本体の HIDE MENU [SHIFT] ボタンと同じ動きをします。

### ㉗ TITLE/POP UP ボタン

メディアの再生中/再生待機中に押すと、タイトルメニューを表示します。

メニューの移動は、カーソルボタン [←]/[→]/[↑]/[↓] で移動し、選択実行は ENTER ボタンで決定します。

### ㉘ SETUP ボタン

HOME 画面の操作中、または再生中/再生待機中や早戻し/早送りサーチ中に押すと、設定画面が開きます。

もう一度、押すと元の画面に戻ります。

### ㉙ ENTER ボタン

HOME 画面や各メニュー画面の実行ボタンになります。

### ⑳ OPTION ボタン

メディアの再生中/再生待機中に押すと、オプションメニュー画面を表示します。

メニューの移動は、カーソルボタン [←]/[→]/[↑]/[↓] で移動し、選択実行は ENTER ボタンで決定します。

### ㉑ ◀▶ ボタン

メディアの再生中/再生待機中に押すと、前または次のチャプター、またはファイルにスキップします。(スキップ後に再生を開始します。)

- ビデオファイルでは、前または次のチャプターに移動します。
- オーディオファイルでは、前または次のファイルに移動します。

### ㉒ ■ ボタン

本体の STOP ボタン (■) と同じ動きをします。

### ㉓ ▶ ボタン

再生、一時停止、サーチ中に押すと、スロー再生を行います。押す度に速度が次のようになります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2 → 通常再生

### ㉔ REPEAT ボタン

メディアの再生中/再生待機中に押すと、モニター上部にアイコンが表示され、選択したチャプターやタイトル、またはトラックがリピート再生モードになります。ボタンを繰り返し押すと、リピート再生する条件が選択可能です。

(→32 ページを参照)

### ㉕ 2nd AUDIO ボタン\*

ピクチャー・イン・ピクチャー機能で使用されるオーディオの言語が選択されます。この機能は、対応するディスクでのみ使用できます。

\* ⑱の AUDIO ボタンの機能とは異なります。

### ㉖ A-B ボタン

ディスクの再生中に A-B ボタンを押すと、一部のシーン、またはトラックをリピート再生します。

### ㉗ RANDOM ボタン

再生モードを切り換えます。押す度に次のように切り換わります。

シャッフル CH → シャッフル TT → シャッフルオール → ランダム CH → ランダム TT → ランダムオール → 通常再生

### ㉘ MARK ボタン

ビデオファイルの再生中に、このボタンを押すと任意の位置に「ブックマーク (最大12個)」を追加します。

### ㉙ HDMI ボタン

このボタンを繰り返し押すと、下記の画像解像度を切り換えることができます。

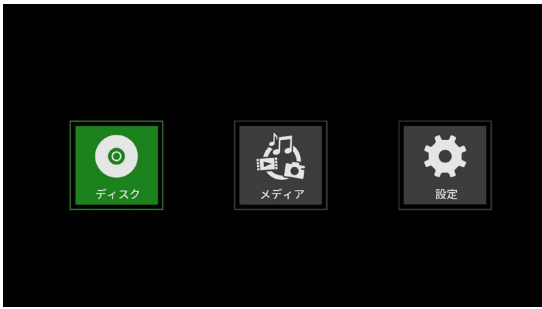
- 480i/576i、480p/576p、720p、1080i、1080p、2160p

### ㉚ ANGLE ボタン

複数のアングルが収録されているビデオファイルの再生中/再生待機中に押すと、モニター上部にアイコンが表示され、現在選択中のアングル角度を表示します。ボタンを繰り返し押すと、収録されているアングルを選択可能です。



## HOME 画面



HOME画面では、「メディアの選択/再生/ファイル確認」、「本機の設定(セットアップ)」などが行えます。

各メニューの移動や決定/実行は、本体の指定ボタン\*、またはリモコンのカーソルボタンやENTERボタンで、操作してください。(ここでは、主にリモコンでの操作説明とします。)

\* 本体でカーソル操作や決定/実行する場合は、**HIDE MENU [SHIFT]** ボタンと指定ボタン(各ボタンの下に紺地に白抜き文字で表示)を同時に押して、操作してください。

## ディスク

本機のディスクトレイにセットされているメディアを再生します。



メディアの再生する場合は、**ディスクアイコン**を選択した状態で、▶ボタンで再生します。

## メディア

本機にセットされているメディア(項目)の選択が可能です。

### リモコンの基本操作

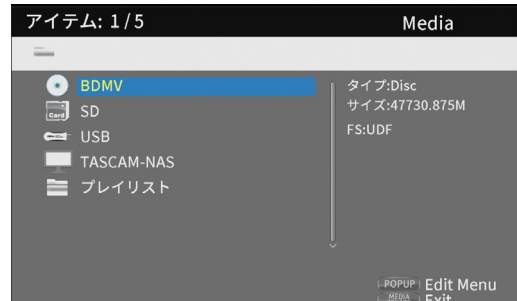
- フォルダ内、またはサブメニュー内から抜け出す場合は、[<]カーソルボタンを繰り返し押しすと、最初の画面に戻ります。
- HOME画面に戻るには、**HOME**ボタンを押してください。



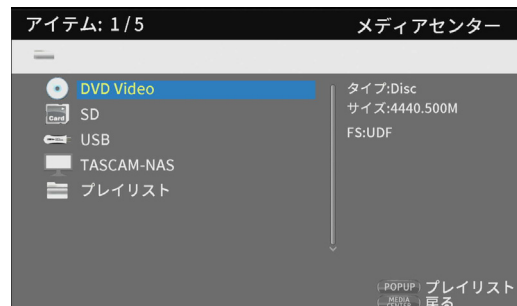
**メディアアイコン**を選択した状態で、**ENTER** ボタンを押すと、本機にセットされている各メディアを表示します。

### メモ

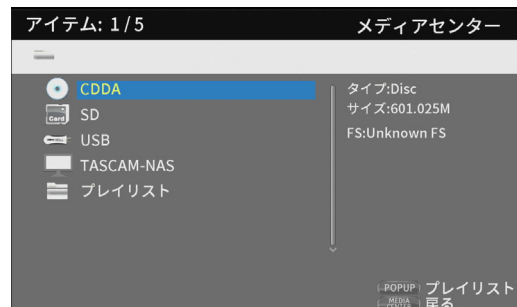
- 通常時に表示するアイコンの順番は、セットしたメディアの順に表示します。
- 電源投入時に表示する各メディアのアイコンは、本機が認識した順番となります。(本ページの画像は、電源投入時の表示例となります。)
- **BDMV**アイコン：ブルーレイディスク  
ディスクトレイにセットされているメディアで下記を表示



- **DVD Video**アイコン：DVDディスク  
ディスクトレイにセットされているメディアで下記を表示

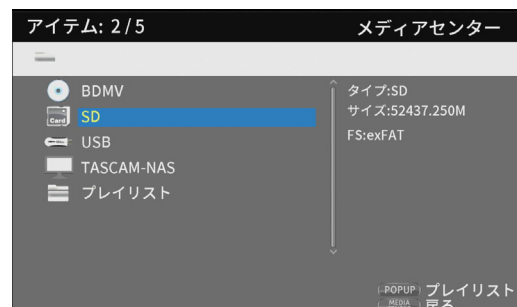


- **CDDA**アイコン：CDディスク  
ディスクトレイにセットされているメディアで下記を表示



**BDMV**、または**CDDA**アイコンを選択して、**ENTER** ボタンを押すとメディアの再生を開始します。

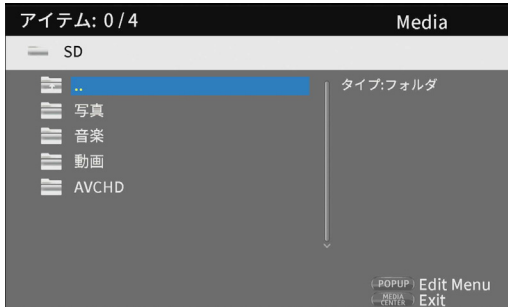
- **SD**アイコン：SDカード
- **USB**アイコン：USBメモリー
- **ネットワークドライブ**アイコン: ネットワーク内にネットワークドライブが見つかったとき  
本機にセットされているメディアで下記を表示





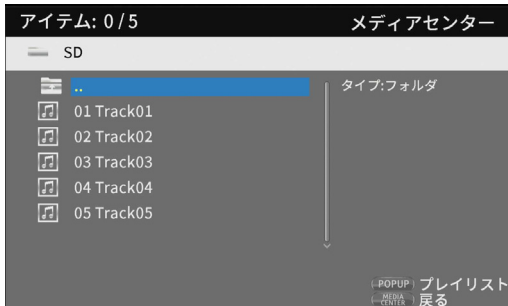
## USBメモリー/SDカード/DATAディスク/ネットワークドライブ内のファイルを再生する場合

1. [▼]/[へ]カーソルボタンでSD/USB/DATAディスク/ネットワークドライブアイコンを選択し、ENTERボタンを押すと、下記のようにフォルダ別に表示します。(SD/USB/DATAディスク/ネットワークドライブフォルダ内の表示方法は、共通です。)



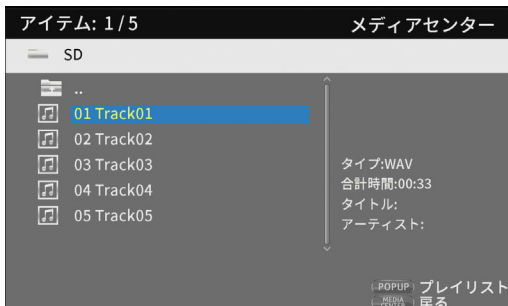
- .. : 上位フォルダ
- 写真 : 写真フォルダ
- 音楽 : 音楽フォルダ
- 動画 : 動画フォルダ
- AVCHD : 高画質動画フォルダ

2. [▼]/[へ]カーソルボタンでフォルダを選択し、ENTERボタンを押すと、フォルダ内のファイルを表示します。(例：音楽フォルダを開いた状態)

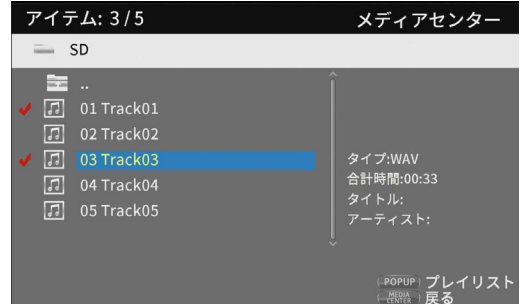


ファイルおよびフォルダはエントリー順（書き込んだ順）で表示されます。

3. [▼]/[へ]カーソルボタンでファイルを選択し、▶ボタンを押すとメディアの再生を開始します。ファイルを選択中は、下記情報を表示画面右側に表示します。
  - 画像ファイルの場合は、サムネールを表示
  - 音楽 / 動画ファイルの場合は、各種情報を表示



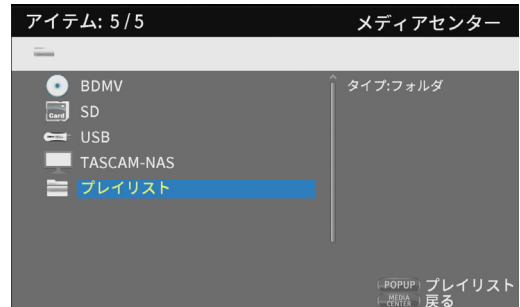
また、ファイルを選択中に [>]カーソルボタンを押すとファイルの先頭にチェックマークが付いて、そのファイルが選択状態になります。



- この状態で、ENTERボタンを押すと選択中のファイルを順に再生します。再生が終わると上記の画面に戻ります。
- ファイルのチェックマークを外すには、もう一度そのファイルを選択して、[>]カーソルボタンを押すとチェックマークが消えます。

### ● プレイリストアイコン

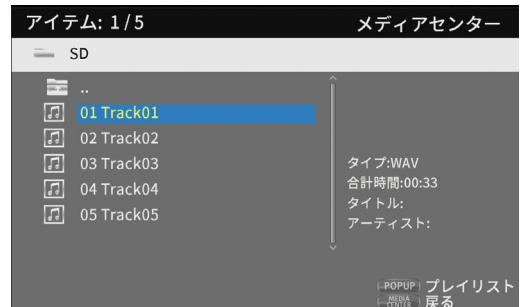
メディア（項目）から選択した各ファイルをプレイリストを使用して、選択した順序でメディアを再生できます。



## プレイリストにファイルを追加/解除する場合

### プレイリスト内にファイルを追加する

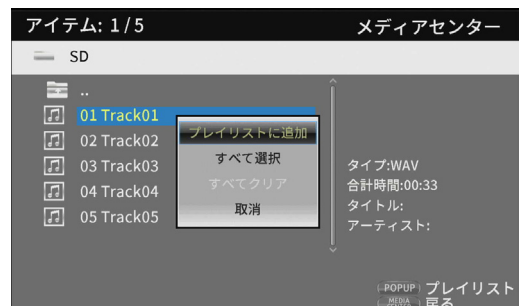
1. [▼]/[へ]カーソルボタンでSD/USB/DATAディスクドライブアイコンを選択し、ENTERボタンを押して目的のフォルダを選択します。



### メモ

ネットワーク上のファイルはプレイリストに追加することはできません。

2. プレイリストに入れたいファイルを選択して、TITLE/POP UPボタンを押すとポップアップメッセージを表示します。



3. [▼]/[へ]カーソルボタンで、ポップアップメッセージの"**プレイリストに追加**"を選択して、**ENTER**ボタンを押すと選択中のファイルをプレイリストに格納します。
- また、ファイルを選択中に[>]カーソルボタンを押すと、ファイルの先頭にチェックマークが付いて、そのファイルが選択状態になります。



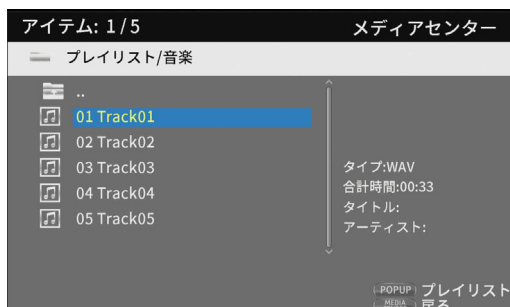
もう一度、[>]カーソルボタンを押すとファイルの先頭のチェックマークが外れます。

- 必要なファイルにチェックマークを付いたら、**TITLE/POP UP**ボタンを押し、ポップアップメッセージを表示させます。

[▼]/[へ]カーソルボタンで"**プレイリストに追加**"を選択し、**ENTER**ボタンを押すとチェックマーク付きファイルをプレイリストに格納します。



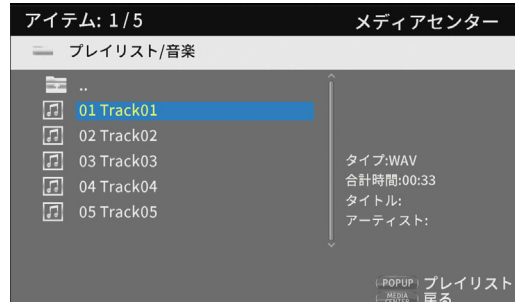
- また、**[手順2.]**でポップアップメッセージの"**すべて選択**"を選択し、**ENTER**ボタンを押すとフォルダ内の全ファイルにチェックマークが付加されます。



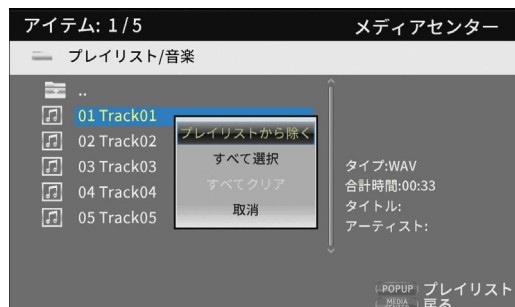
- ファイルにチェックマークを付けた状態で **TITLE/POP UP**ボタンを押し、ポップアップメッセージを表示させます。[▼]/[へ]カーソルボタンで"**プレイリストに追加**"を選択し、**ENTER**ボタンを押すとチェックマーク付きファイルをプレイリストに格納します。
  - ポップアップメッセージの"**すべてクリア**"を選択し、**ENTER**ボタンを押すと全ファイルのチェックマークが外れます。または、フォルダ内から抜け出すと全ファイルのチェックマークが外れます。
- 何もしない場合は、"**取消**"を選択して、**ENTER**ボタンを押すか、[<]カーソルボタンを押すと元に戻ります。

## プレイリスト内のファイルを解除する

1. プレイリストを解除するには、プレイリストアイコンを選択し、ファイルを格納してあるフォルダを開きます。



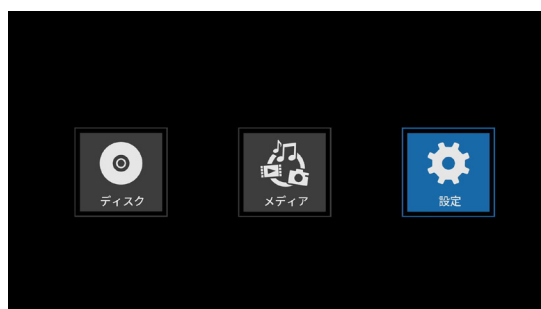
2. プレイリストからファイルを個別に解除する場合、ファイルを選択して、[>]カーソルボタンを押すと、ファイルの先頭にチェックマークが付きます。



- ここで、**TITLE/POP UP**ボタンを押し、ポップアップメッセージを表示させ、[▼]/[へ]カーソルボタンで"**プレイリストから除く**"を選択し、**ENTER**ボタンを押すとチェックマーク付きファイルをプレイリストから解除します。

3. プレイリストから全ファイルを解除する場合、**TITLE/POP UP**ボタンを押し、ポップアップメッセージから"**すべて選択**"を選択して、**ENTER**ボタンを押すとフォルダ内の全ファイルにチェックマークが付加されます。もう一度、**TITLE/POP UP**ボタンを押し、ポップアップメッセージを表示させ、[▼]/[へ]カーソルボタンで"**プレイリストから除く**"を選択し、**ENTER**ボタンを押すとチェックマーク付きファイルをプレイリストから解除します。

## 設定



設定画面では、本機の「基本設定」、「映像設定」、「オーディオ設定」、「システムインフォメーション」などの設定や確認が行えます。

設定アイコンを選択した状態で、**ENTER** ボタンを押すと、各設定アイコンを表示します。

各メニューの移動や決定 / 実行は、本体の指定ボタン\*、またはリモコンのカーソルボタンや **ENTER** ボタンで、操作してください。(ここでは、主にリモコンでの操作説明とします。)

\* 本体でカーソル操作や決定 / 実行する場合は、**HIDE MENU [SHIFT]** ボタンと指定ボタン (各ボタンの下に紺地に白抜き文字で表示) を同時に押して、操作してください。

### メモ

HIDE MENU機能が有効になっているときは設定に入れません。

リモコンの **SETUP** ボタンで設定画面を表示することができます。ただし、再生中/一時停止/停止中などの状態では変更できない項目があります。

### リモコンの基本操作

- フォルダ内、またはサブメニュー内から抜け出す場合は、[**<**]カーソルボタンを繰り返し押すと、最初の画面に戻ります。
- HOME画面に戻るには、**HOME**ボタンを押してください。
- 操作途中でも **RETURN** ボタンで前の画面に戻ります。
- 下記の設定リストで、「**選択項目**」内の「**\_**」付きが初期設定になります。

## 基本設定

### システム

機能	選択項目	説明
スクリーンセーバー	オン/オフ	スクリーンセーバーのオン/オフを選択できます。 "オン"を選択すると、何も再生していない場合、および停止中(一時停止を含む)の場合に、下記の機能が有効になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 約3分間無操作の場合に、スクリーンセーバーが表示されます。</li><li>● 約10分間無操作の場合に、本機の電源が自動でオフになります。</li></ul>
HDMI CEC	HDMI1 オン/HDMI2 オン/CEC オフ	HDMI CEC 対応機器 (本機など) と HDMI CEC 対応テレビを HDMI ケーブルでつなぐことで、リモコンから機器とテレビの連動操作が行えるようになる機能です。 (オフ設定の場合、リモコンは本機のみ対応します。)
オートディスクアップグレード	オン/オフ	本機がアップグレードディスクをロードすると自動的にアップグレードします。
設定初期化	次…	本機のバックアップメモリーに保存されている各設定情報を工場出荷時の状態に戻す機能です。
アップグレード	<ul style="list-style-type: none"><li>● ディスク</li><li>● USB/SD</li></ul>	本機のファームウェアをアップグレードする際に使用します。 (アップグレード用メディアの選択が可能です。) <b>注意</b> USBまたはSDからアップグレードするときは、アップデートで使用しない端子にはメディアを接続しないでください。
簡易設定	次…	本機の設定をウィザード(操作手順)に従って、下記の簡易的な設定が可能です。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 言語設定/モニター解像度/モニターの縦横比(アスペクト比)より詳細な設定は、<b>基本設定</b>の項目毎に行ってください。</li></ul>
著作権	次…	GNU General Public Licenseが表示されます。

## 表示言語

機能	選択項目	説明
OSD	英語/日本語	本機の機能画面や情報画面で、表示する言語(英/和)を選択できます。
ディスクメニュー*	各国語/次…	再生時のオプションメニューで使用する言語を選択できます。
オーディオ*	各国語/次…	再生時の音声言語を選択できます。
字幕*	各国語/次…/オフ	再生時の字幕に表示する言語(または、字幕のオフ)を選択できます。

\* この機能は、対応しているコンテンツでのみ動作します。

## プレイバック

機能	選択項目	説明
自動再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オン(リピート オン)</li> <li>● オン(リピート オフ)</li> <li>● オフ</li> </ul>	<p>ディスクの自動再生とリピート再生の機能が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動再生をオンにした場合、再生したいディスクをディスクトレイにセットしておく、電源投入時あるいはディスク交換などでディスクトレイを閉めた際に、自動でディスクの再生を開始します。</li> <li>● 自動再生リピート機能をオンにすると、自動再生でディスク再生したとき繰り返し再生を継続します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• リピートオン：自動再生とリピート機能の両方を有効にします。</li> <li>• リピートオフ：リピート機能をオフにし、自動再生のみ有効にします。</li> </ul> </li> <li>● オフに設定した場合、自動再生もリピートも機能しません。</li> </ul> <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動再生機能が有効な場合に、ディスクのセットを行うとディスクの自動再生が実行されますので、下記の操作中はご注意ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• HOME 画面で設定中</li> <li>• SDカード/USBメモリー/ネットワークドライブでメディアを再生中</li> </ul> </li> <li>● 自動再生については、SDカード/USBメモリー/ネットワークドライブに対応しておりません。対応するディスクでのみ使用できます。</li> </ul>
クローズドキャプション	オン/オフ	ビデオディスクの音声を字幕にする機能の表示/非表示を選択できます。
アングルマーク	オン/オフ	ビデオディスクの再生時にアングル操作が可能になったことを知らせるアイコンの表示/非表示を選択できます。
PIPマーク	オン/オフ	ビデオディスクの再生時にピクチャー・イン・ピクチャー機能が使用可能になったことを知らせるアイコンの表示/非表示を選択できます。
第二音声マーク	オン/オフ	第二音声マークの表示/非表示を選択できます。
ラストメモリー	オン/オフ	<p>ディスクの再生を停止した位置を本機の内部メモリーに記憶します。機能設定をオンにすると、同じディスクで再生を行うと記憶した位置から再生を開始します。</p> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機能は、対応しているコンテンツでのみ動作します。</li> <li>● 再生中に <b>HOME</b> ボタンを押した場合、再生位置は記憶しません。</li> <li>● 本機で記憶できるディスク枚数は、最大5枚です。ディスクが5枚を越えると最も古いディスクの記憶を新しいディスクに書き換えます。</li> </ul>

## セキュリティー

機能	選択項目	説明
パスワード変更	次…	本機にパスワードの設定ができます。 ● パスワード設定は、数字4桁です。 * 初期設定は「0000」になります。
視聴制限	次…	ディスクを視聴できる年齢を設定することができます。 変更するにはパスワードの入力が必要です。 * 初期設定は"アダルト"になります。
国別コード	次…	視聴制限を使用する国名を設定します。 変更するにはパスワードの入力が必要です。 * 初期設定は"日本"になります。

## ネットワーク

機能	選択項目	説明
インターネット接続	有効/無効	本機のインターネット接続を有効/無効の選択できます。
インターフェース	イーサネット/ワイヤレス	本機をインターネットにアクセスする方法を"イーサネット"、または"ワイヤレス"(*1)から選択できます。 "ワイヤレス"で、"Yes"を選択すると下記の接続方法が選択できます。 ● Scan : アクセスポイントの検索を行い、接続先を選択できます。 ● マニュアル : 手動でSSIDを設定し、接続できます。 ● オート : WPS (Wi-Fi Protected Setup) 規格による接続ができます。
IPv6有効化設定	有効/無効	本機でIPv6を使用できるようにするかどうかを選択できます。 下記の接続方法が選択できます。 ● 有効: IPv6を使用します。有効にすると"優先IPバージョン", "IPv6情報", "IPv6設定"の設定・確認ができるようになります。 ● 無効: IPv6を使用しません。
優先IPバージョン	IPv4/IPv6	優先するIPバージョンを選択します。 ● IPv4: IPv4を優先します ● IPv6: IPv6を優先します
IPv4情報	次…	IPv4での下記のインターネット接続に関する情報(ネットワークインフォメーション)を表示します。 ● インターフェース/アドレスタイプ/IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/DNS1/DNS2
IPv6情報	次…	IPv6での下記のインターネット接続に関する情報(ネットワークインフォメーション)を表示します。 ● インターフェース/Link-Local Address/IPアドレス/Prefix/ゲートウェイ/DNS1/DNS2
接続テスト	次…	ネットワーク接続のテストを行います。
IPv4設定	オート/マニュアル	本機のIPアドレスの設定方法を選択できます。 ● オート IPアドレスをDHCPサーバー経由で自動的に取得します。 ● マニュアル インターフェース/アドレスタイプ/IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/DNS1/DNS2の番号を手動で入力します。
IPv6設定	オート/マニュアル	本機のIPアドレスの設定方法を選択できます。 ● オート IPアドレスをDHCPサーバー経由で自動的に取得します。 ● マニュアル インターフェース/Link-Local Address/IPアドレス/Prefix/ゲートウェイ/DNS1/DNS2の番号を手動で入力します。

Wireless Setting	次…	<p>ワイヤレス接続(*1)の設定が行えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Scan アクセスポイントの検索を行い、接続先を選択できます。</li> <li>● マニュアル 手動で SSID を設定し、接続できます。</li> <li>● オート WPS (Wi-Fi Protected Setup) 規格による接続ができます。</li> </ul>
BD-Live BUDA	<ul style="list-style-type: none"> <li>● BUDAインフォメーション</li> <li>● BUDAセットアップ</li> </ul>	<p>BD-Liveでコンテンツ保存の為に、使用する記憶領域を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● BUDAインフォメーション <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンテンツの保存に使用する記憶領域の空き容量を表示します。</li> <li>● <b>ENTER</b>ボタンを押すとフォーマット[Fmt buda]ボタンが表示されますので、<b>ENTER</b>ボタンを押してください。 選択した記憶領域に BUDAフォルダを作成します。</li> </ul> </li> <li>● BUDAセットアップ BUDA で使用する記憶領域を外部にするか内蔵メモリーにするかの選択ができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>エクスターナル</u> : 本機に接続された USB メモリーを使用 (*2) します。</li> <li>● <u>オンボード</u> : 本機に内蔵された記憶領域を使用します。</li> </ul> </li> </ul>
BD-LIVEコネクション	許可/部分的に許可/禁止	<p>インターネット上の BD-Liveコンテンツへのアクセスレベルを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 許可 : すべてのコンテンツにアクセスできます。</li> <li>● 部分的に許可 : 特定のコンテンツのみにアクセスできます。</li> <li>● 禁止 : BD-Liveコンテンツはブロックします。</li> </ul>
プロキシ設定	無効/有効	<p>本機をプロキシサーバー経由でインターネットに接続するか選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 無効 : プロキシサーバーを使用しません。</li> <li>● 有効 : プロキシホストとプロキシポートの設定ができます。</li> </ul>

\* 1: "ワイヤレス" 接続および設定は、USB- 無線 LAN アダプタを本機に接続した場合のみ使用可能です。

(本機に USB- 無線 LAN アダプタは、付属していません。詳細は、42 ページを参照)

\* 2: BD-Live機能を使用中に USBメモリーを抜かないでください。USBメモリーは、FAT32ファイルフォーマットを使用してください。

## RS-232C設定

機能	選択項目	説明
転送速度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 38400 bps</li> <li>● <u>57600 bps</u></li> <li>● 115200 bps</li> </ul>	<p>RS-232Cで本機をコントロールするときの通信速度を設定できます。</p> <p><b>メモ</b> 電源がオフの時はここでの設定にかかわらず57600bpsになります。RS-232Cから電源オンを行う場合は57600bpsにする必要があります。</p>

## 映像設定

### TV

機能	選択項目	説明
TVスクリーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>16:9 フル</u></li> <li>● 16:9 ノーマル</li> <li>● 4:3 パン スキャン</li> <li>● 4:3 レターボックス</li> </ul>	<p>モニターのアスペクト比を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 16:9 フル : アスペクト比を常に16:9にします。4:3の映像も16:9にします。</li> <li>● 16:9 ノーマル : 通常はアスペクト比を16:9にします。4:3の映像は左右に黒帯を表示します。</li> <li>● 4:3 パン スキャン : アスペクト比を常に4:3にします。16:9の映像も4:3にします。</li> <li>● 4:3レターボックス : 通常はアスペクト比を4:3にします。16:9の映像は上下に黒帯を表示します。</li> </ul>



解像度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オート</li> <li>● 480I/576I</li> <li>● 480P/576P</li> <li>● 720P</li> <li>● 1080I</li> <li>● 1080P</li> <li>● 2160P</li> </ul>	<p>画像の解像度を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● オートを選択した場合、本機がモニターやテレビ側の最適な解像度を自動的に検出します。その際、選択された設定で保存するか確認メッセージを表示しますので、必要に応じて <b>[OK]</b> を選択してください。</li> </ul>
HDR設定	オート/HDR/SDR	<p>HDR(ハイダイナミックレンジ)信号を出力するか、スタンダードダイナミックレンジ信号を出力するかを設定します。(*1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● オート: HDR画像と SDR画像を自動で切り換えます。</li> <li>● HDR : 常に HDR画像を出力します</li> <li>● SDR : 常に SDR画像を出力します。</li> </ul> <p><b>メモ</b> ドルビービジョンモードが有効のときはこの機能は使用できません。</p>
ドルビービジョンモード	オート/低遅延/LL RGB/オフ	ドルビービジョン出力を設定します。(*2)
TVシステム	NTSC/PAL/マルチ	本機の設置先の放送方式(*3)を選択できます。
HDMI色空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>● RGB</li> <li>● YCbCr</li> <li>● <u>YCbCr422</u></li> <li>● フルRGB</li> </ul>	HDMI出力の色空間を選択できます。
HDMIディープカラー	30ビット/36ビット/48ビット/ オフ	<p>HDMI 出力のディープカラーモード(*4)を選択できます。</p> <p>* HDMI色空間が <b>"YCbCr422"</b> に設定されているときはこの機能は使用できません。</p>
HDMI 1080P 24Hz	オン/オフ	24Hzで再生する1080Pのブルーレイディスクのフレームレート変換のオン/オフ"を選択できます。
HDMI 3D	オート/オフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オートを選択すると3Dビデオを再生した場合に、3D信号を自動的に出力します。</li> <li>● オフを選択すると3D信号は、出力されません。</li> </ul>

\* 1: この機能が正しく動作するには、テレビ、またはモニターが HDRに対応している必要があります。

\* 2: この機能が正しく動作するには、テレビ、またはモニターがドルビービジョンに対応している必要があります。

\* 3: NTSC/PALの両方式をサポートしている地域の場合、"マルチ"を選択してください。

\* 4: この機能が正しく動作するには、テレビ、またはモニターが HDMI v1.3以降に対応している必要があります。

## 映像処理

機能	選択項目	説明
映像調整	次…	<p>本機からテレビ、またはモニターに出力する色や明るさ、彩度などの調整が行えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 明るさ/コントラスト/色相/飽和度</li> </ul>
シャープネス	High/Normal/ <u>Low</u>	本機からテレビ、またはモニターに出力する高/中/低域の鮮明度の調整が行えます。

## 動画プロセス

機能	選択項目	説明
ビデオモード	標準/ヴィヴィッド/シネマ/カスタム	ビデオモードを設定できます。カスタムでは明るさ、飽和度、色相、コントラスト、シャープネス、CTIが設定できます。
色調整	赤/緑/青/黄色/シアン/マゼンタ	各色の明るさ、飽和度、色相を調整できます。
ノイズリダクション	<u>0</u> /1/2/3	<p>ノイズリダクションのレベルを調整できます。</p> <p>0はオフ、1～3はノイズリダクションの効果が徐々に高くなります。</p>

## Closed Captions

機能	選択項目	説明
CC Attributes	<u>オート</u> /カスタム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オート 字幕関係のフォントやウィンドウのサイズ/色/不透明度をデフォルトで表示します。</li> <li>● カスタム 字幕関係のフォントやウィンドウのサイズ/色/不透明度を変更できます。</li> </ul>
Font color	デフォルト/ <u>White</u> /Black/Red/Green/Blue/Yellow/Magenta/Cyan	字幕関係のフォントの色を変更できます。
Font size	デフォルト/ <u>標準</u> /スモール/ラージ	字幕関係のフォントサイズを変更できます。
Font style	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>デフォルト</u></li> <li>● Monospaced with serifs</li> <li>● Proportionally spaced with serifs</li> <li>● Monospaced without serifs</li> <li>● Proportionally spaced without serifs</li> </ul>	字幕関係のフォントスタイルを変更できます。
Font opacity	<u>Solid</u> /Translucent/Transparent	字幕関係のフォントの不透明度を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● Solid (不透明)</li> <li>● Translucent (半透明)</li> <li>● Transparent (透明)</li> </ul>
Font edge	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デフォルト</li> <li>● <u>なし</u></li> <li>● Raised</li> <li>● Depressed</li> <li>● Uniform</li> <li>● Left drop shadow</li> <li>● Right drop shadow</li> </ul>	字幕関係のフォントに、効果(エフェクト)を加えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● Raised (浮き)</li> <li>● Depressed (くぼみ)</li> <li>● Uniform (均等)</li> <li>● Left drop shadow (左に影)</li> <li>● Right drop shadow (右に影)</li> </ul>
Font edge color	<u>White</u> /Black/Red/Green/Blue/Yellow/Magenta/Cyan	字幕関係のフォントの輪郭に色を加えることができます。
BG color	デフォルト/ <u>White</u> /Black/Red/Green/Blue/Yellow/Magenta/Cyan	字幕関係のテキスト背景の色を変更できます。
BG opacity	<u>Solid</u> /Translucent/Transparent	字幕関係のテキスト背景の不透明度を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● Solid (不透明)</li> <li>● Translucent (半透明)</li> <li>● Transparent (透明)</li> </ul>
Window color	デフォルト/ <u>White</u> /Black/Red/Green/Blue/Yellow/Magenta/Cyan	字幕関係のテキスト周囲のウィンドウの色を変更できます。
Window opacity	<u>Solid</u> /Translucent/Transparent	字幕関係のテキスト周囲のウィンドウの不透明度を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● Solid (不透明)</li> <li>● Translucent (半透明)</li> <li>● Transparent (透明)</li> </ul>

## オーディオ設定

### オーディオ出力

機能	選択項目	説明
S/PDIF	ビットストリーム/ <u>PCM</u> /オフ	デジタルオーディオ信号のフォーマットを選択できます。*
HDMI	ビットストリーム/ <u>PCM</u> /オフ	HDMI出力のオーディオのフォーマットを選択できます。
FS設定	<u>48 kHz</u> /96 kHz/192 kHz	サンプリング周波数**を選択できます。
音量調節	有効/無効	Volume のアップ / ダウン操作の有効、または無効を選択できます。
Dolby DRC	オフ/オン/ <u>オート</u>	ドルビーダイナミックレンジコントロールのオフ/オン/オートを選択できます。
DRC	<u>オフ</u> /モード1/モード2	ダイナミックレンジコントロールのオフ、モード1、モード2が選択できます。

\* AVアンプなどに接続してサラウンドで使用する場合はビットストリームに設定してください。ビットストリームで使用するには接続する機器が対応している必要があります。

\*\* 音声を再生する場合の本機内部の信号処理のダウンサンプリング周波数の選択です。選択した値よりも大きなサンプリング周波数の音声信号を再生した場合は、設定したサンプリング周波数に変換して処理されます。HDMI、DIGITAL OUT端子のPCM出力信号も設定された値にダウンサンプリングされます。

### スピーカー設定

機能	選択項目	説明									
チャンネル構成	2.x/3.x/4.x/5.x/6.x/ <u>7.x</u>	<p>チャンネル構成を選択し、各チャンネルのスピーカーサイズ、トリム、ディレイの設定ができます。カーソルキーを使ってスピーカーを選択し、<b>ENTERボタン</b>を押すと、そのスピーカーの設定が変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サイズ : スピーカーサイズの設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大/小</li> </ul> </li> <li>● トリム : トリム調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>● [-10dB] ~ [0dB] ~ [+10dB]の範囲で0.5dB間隔。(*2)</li> </ul> </li> <li>● ディレイ : ディレイ調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 0cm ~ 1000cmの範囲で5cm間隔。(ディレイ時間は、29μsec/1cm)</li> </ul> </li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">チャンネル構成</th> <th>サブウーファーの選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.x : Lt/Rt(*1)、ステレオ</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">なし、<u>シングル</u></td> </tr> <tr> <td>3.x : LCR</td> </tr> <tr> <td>4.x : LRLsRs</td> </tr> <tr> <td>5.x : -</td> </tr> <tr> <td>6.x : -</td> </tr> <tr> <td>7.x : C+LR+LsRs+LsrRsr</td> </tr> </tbody> </table> <p>* サブウーハーはトリムのみ調整可能です、サイズ選択及びディレイの調整はできません。</p>	チャンネル構成	サブウーファーの選択	2.x : Lt/Rt(*1)、ステレオ	なし、 <u>シングル</u>	3.x : LCR	4.x : LRLsRs	5.x : -	6.x : -	7.x : C+LR+LsRs+LsrRsr
チャンネル構成	サブウーファーの選択										
2.x : Lt/Rt(*1)、ステレオ	なし、 <u>シングル</u>										
3.x : LCR											
4.x : LRLsRs											
5.x : -											
6.x : -											
7.x : C+LR+LsRs+LsrRsr											
テストトーン	次…	<p>スピーカー Lから右回りに順次スピーカーを切り換えてテストトーン(ホワイトノイズ)を出力します。設定したいスピーカーがハイライトされている状態で<b>ENTERボタン</b>を押すとスピーカーサイズ及び、トリム、ディレイの設定値が変更できます。(*2)</p> <p>* 選択肢/設定範囲はチャンネル構成と同じですが、サブウーハーは調整できません。</p>									

\* 1: Lt/Rt は、ドルビーサラウンドに対応した2チャンネルダウンミックス出力です。通常のステレオシステムで再生するとLとRチャンネルのバランスが崩れる場合があります。その場合は Stereo を選択してください。

\* 2: トリム調整について

各サラウンドチャンネルのスピーカーの音量差を調整しやすいように、デジタルフルスケール [-10dB] を [0] と表示しています。

トリム調整不要な場合は、デフォルトの [+10dB] 設定のままで使用してください。

## ポストプロセス設定

機能	選択項目	説明
イコライザー	オフ/ロック/ポップ/ライブ/ダンス/ クラシック/ソフト	音声にイコライザーがかけられます。
ダウンミックス	オフ/DH/DVS/MVS	サラウンド音声をダウンミックスします。 ● DH : ドルビーヘッドホン ● DVS : ドルビーバーチャルスピーカー ● 基準/ワイド ● MVS : 仮想スピーカー ● ムービー/音楽 * MVSはスピーカー設定のチャンネル構成が2.xの場合だけ使用可能です。

## S/PDIF Output Configuration

機能	選択項目	説明
コンフィグ	● FL/FR ● SL/SR ● C/SW ● SBL/SBR ● L/R (-10dB) <sup>*</sup>	選択項目は、本機のリアパネルのアナログ出力と同じ信号を選択できます。 選択されたアナログ出力 <sup>*</sup> が、デジタルオーディオ出力端子 (COAXIAL) から出力されます。

\* L/Rのみオーディオ最大レベルは -10dB<sup>F</sup>になります。

## システムインフォメーション

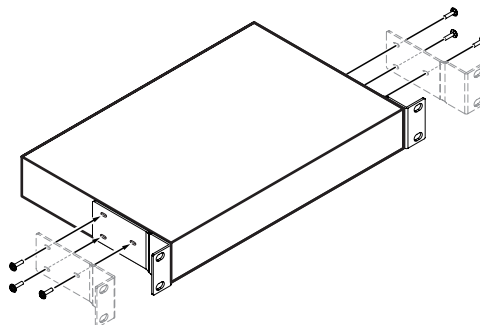
本機の MACアドレスとリビジョンを確認することができます。

- モデル : BD-MP4K
- MACアドレス : XX-XX-XX-XX-XX-XX
- リビジョン : XXX.XXX

## ラックマウントアングルの取り付け

本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントアングルを取り付ける必要があります。

- 下図を参考に取り付けてください。



### メモ

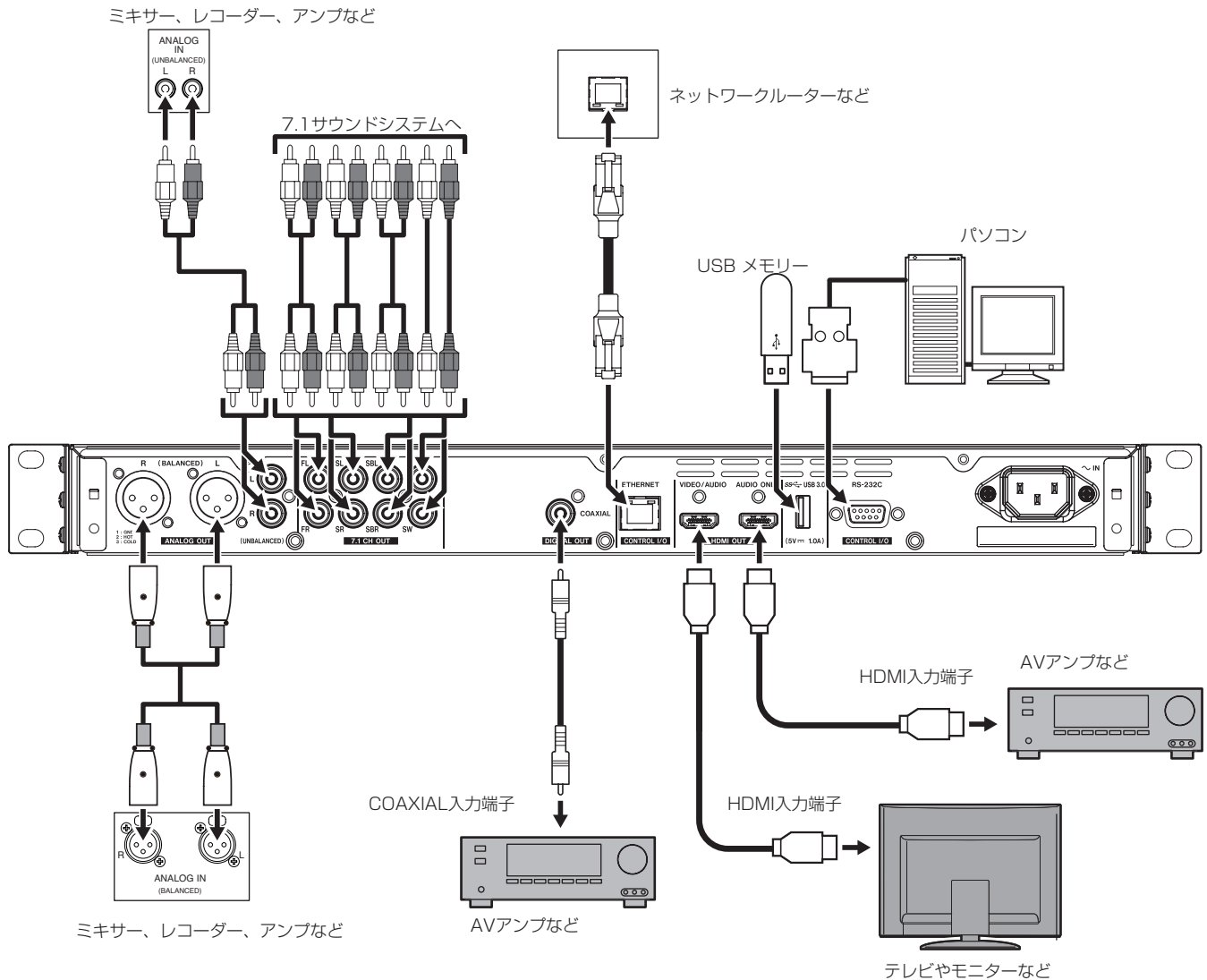
- 取り付けには、プラスドライバーが必要になります。
- 付属のラックマウントアングルの取り付け穴は、長穴になっていますので、ラックに取り付ける際に本機をラックから飛び出さない範囲で調整してください。

## 接続する

以下に、本機の接続例を示します。

### 接続前の注意

- この製品を設定するにはモニターに接続する必要があります。
- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にします。
- 各機器の電源は、同一のラインから供給するように設置します。テーブルタップなどを使う場合は、電源電圧の変動が少なくなるように、電流容量が大きい太いケーブルをご使用ください。また、電源コードを束ねたり、包んだりしないでください。
- ケーブル類は正しく接続してください。(ケーブル類の誤挿入、コネクター類の向きや誤挿入にご注意ください。)

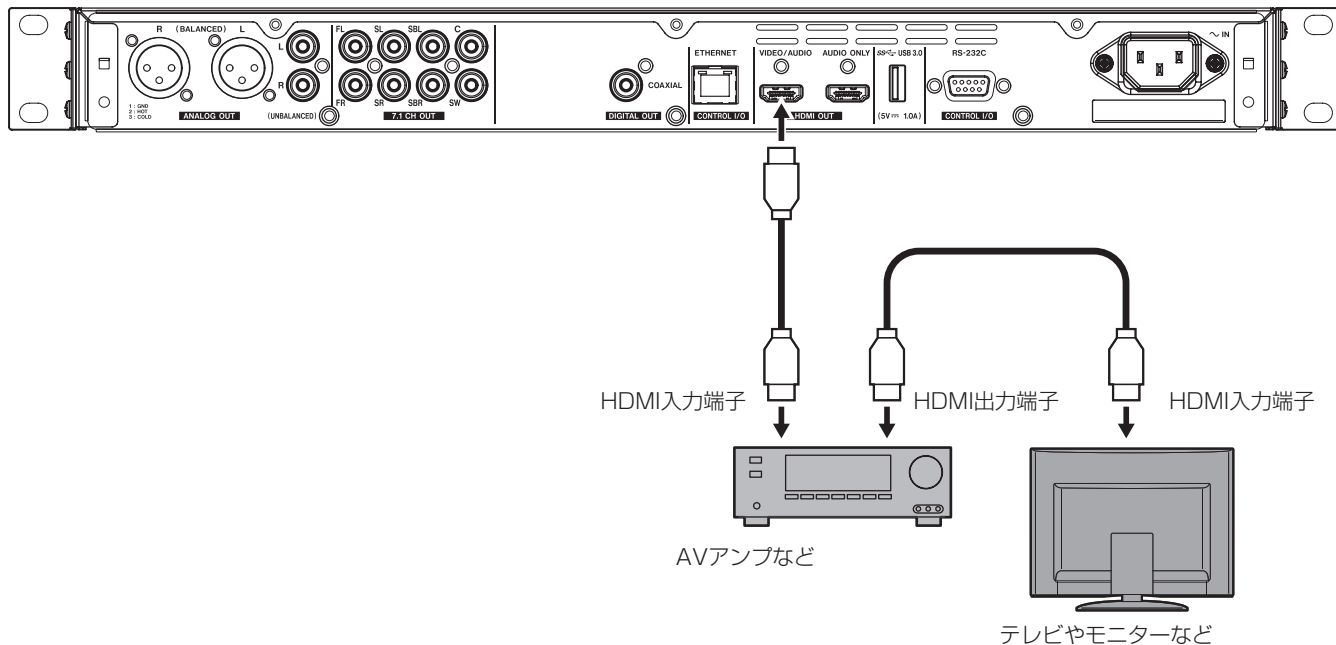


### メモ

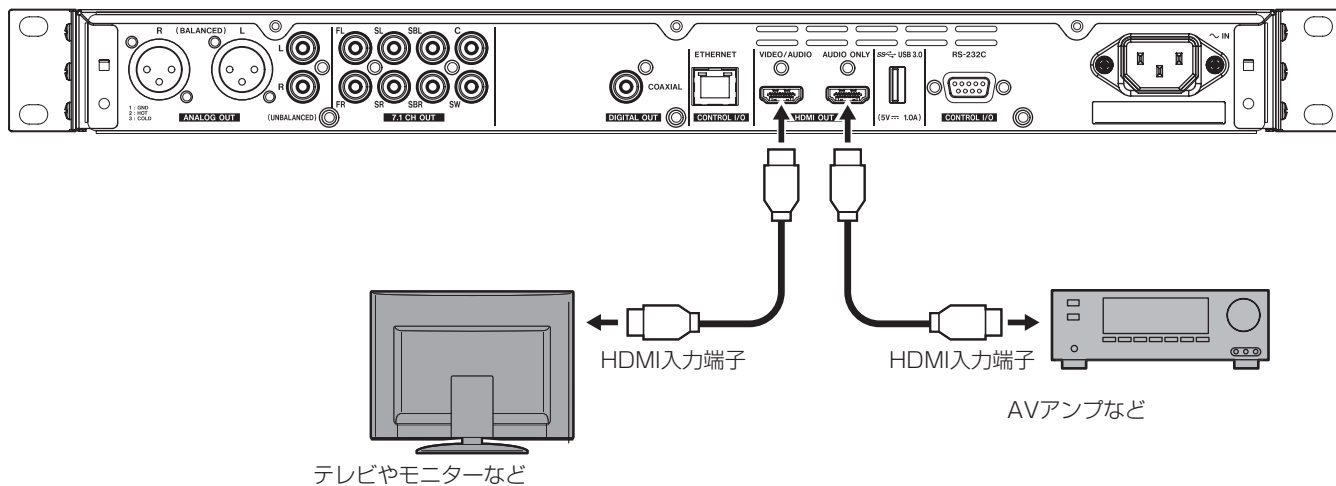
- 本機の出力端子は、すべて同時に出力されています。(HDMI2.0とHDMI1.4が同時に接続された場合の音声出力はHDMI1.4のみとなります。)
- HDMI AUDIO ONLY端子はモニターにつないでも映像は出力されません。「このHDMI端子はオーディオ専用です。AVアンプに接続してください」と表示されます。
- 4K UHD BD, 2160p 60Hzなどの高精細な映像を使用するときは、対応したモニターに18Gbps対応のプレミアムハイスピードHDMIケーブルで接続してください。
- 2160p 30Hzおよび3Dの映像を使用するときは、対応したモニターにハイスピードHDMIケーブルまたはプレミアムハイスピードHDMIケーブルで接続してください。
- HDMI VIDEO/AUDIO端子をHDMI2.0に対応していないAVアンプにつないだ場合、AVアンプのスルーアウトをモニターにつないでも4Kでの出力はできません。

## HDMI接続の AVアンプなどを使う場合の接続例

### HDMI2.0に対応している AVアンプなどの場合

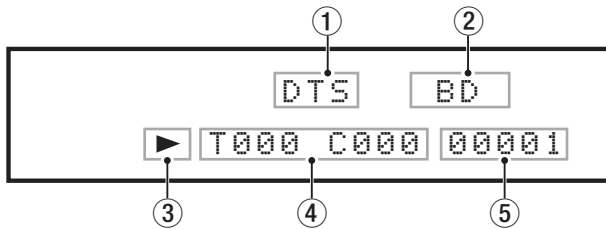


### HDMI2.0に対応していない AVアンプなどの場合





## ディスプレイ画面



### ① 音声出力情報

DTS、DTSHD などの DTS サラウンドを再生している場合は "DTS"、ドルビーデジタルなどドルビー再生時は "DB" が表示されます。

### ② 再生メディア表示

ディスク再生中は再生しているメディアの種類を表示します。

- ブルーレイディスク : "BD"
- DVD ディスク : "DVD"
- オーディオ CD : "CD"
- データディスク : "DISC"

USB 端子に接続した USB メモリーなどを再生している場合には "USB" と、SD カードスロットに装着した SD カードを再生している場合は "SD" が表示されます。

メディア画面で USB を選択しているとき、SD を選択しているときにも "USB" または "SD" と表示されます。

ネットワークドライブから再生している場合は "NETWORK" と表示されます。

### ③ メディアの動作表示

本機が再生中や再生待機中にアイコンを表示します。

- 再生中 : "▶"
- 再生待機中 : "⏸"
- 早送り : "▶▶"
- 早戻し : "◀◀"

### ④ メディアのタイトル / チャプター / トラック表示

本機が再生中や再生待機中にタイトル / チャプター / トラック情報を表示します。

- タイトル / トラック : "T000"
- チャプター : "C000"

### ⑤ 各種情報

- HOME 画面のメディア画面では、選択中のアイテムの項目順を表示します。
- HOME 画面の設定画面では、"SETUP" と表示します。
- 各種操作した際、操作に応じた様々な表示をします。

- 通常時 : メディアの情報表示
- ブルーレイディスク : "BDMV"、"BDAV"
- DVD ディスク : "DVD"
- オーディオ CD : "CD"
- データディスク : "DATA"
- ディスクが無い場合 : "NO DISC"
- USB を挿入した時 : "USB IN"
- USB を抜いた時 : "USB OUT"
- STOP ボタンを押した時 : "STOP"
- TITLE/POP UP ボタンを押した時 : "POP"
- ディスクトレイ開けた時 : "OPEN"
- ディスクトレイ閉めた時 : "CLOSE"
- メディアを認識中 : "LOAD"
- メディアの再生中 : "hh:mm:ss" (hh は時間、mm は分、ss は秒)

再生時間を表示します。残り時間表示 (チャプター残り時間 / タイトル残り時間など) の時は "-hh:mm:ss" となります。モニター画面の情報バーを表示中に [▼]/[へ]カーソルボタンを押すか、リモコンの TIME DISPLAY ボタンを押すことで再生時間表示を切り換えることができます。(→ 38 ページ「モニター画面の情報バー (ON SCREEN) について」)

- その他
  - 複数のタイトルを含むディスクのタイトルメニューを表示中 : "ROOT"
  - 市販のビデオディスクやレンタルビデオディスクのタイトルメニューを表示中 : "TOP"
  - FW アップデート中 : "UPGRADE"
  - 音量調整 : "VOL XX" (調整範囲 (最小: -41 ~ 最大: 0))

## リモコンを準備する

### 乾電池の入れ方

- 裏側の蓋を開けます。
- ⊕、⊖の向きに注意して、単4形乾電池を2本挿入します。
- 蓋を閉めます。

### 乾電池の交換時期

操作範囲が狭くなった、または操作ボタンを押しても動作しない場合は、2本同時に新しい乾電池に交換してください。

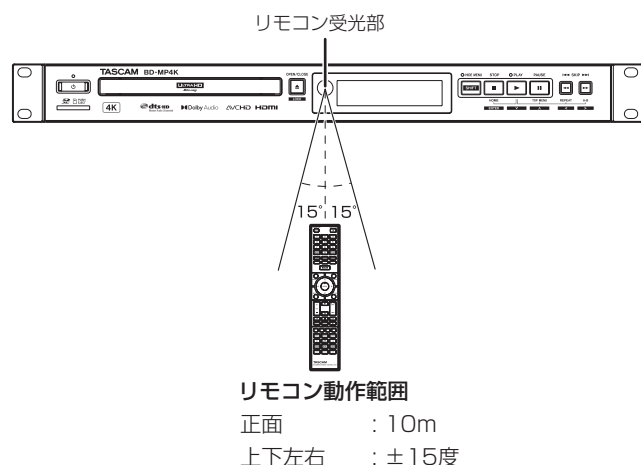
### 乾電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの原因となることがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。  
(→ 3ページ「電池の取り扱いについて」)

### ワイヤレスリモコンを使う

各ボタンの機能は、12 ページの「ワイヤレスリモコン (TASCAM RC-BDMP4K)」をご参照ください。

リモコン使用時は、下記に示す範囲内でリモコンを本機受光部に向けて操作してください。



### 注意

- 障害物があると、操作できないことがあります。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出してください。
- 液漏れを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 赤外線によりコントロールするその他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。

## 電源のオン/オフ

### メモ

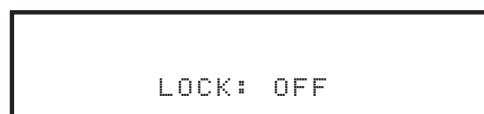
本機は電源コードをつないで、コンセントから通電させる際(停電などの主電源がオフ状態から通電開始も同じ)、通電と同時に本機は自動的に起動します。

フロントパネルの **STANDBY/ON** インジケーターが赤く点灯している場合、**⏻** ボタン、またはリモコンの **STANDBY/ON** ボタンを押します。

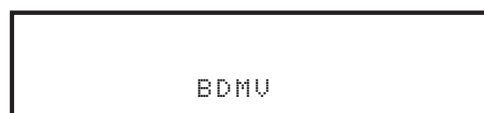
[起動中画面]



[ロック状態表示画面]



[起動画面]



本機が起動し、起動中画面が表示されたあと現在のロック状態を3秒間表示した後に起動画面になります。

### 電源をオフにするには

フロントパネルの **⏻** ボタン、またはリモコンの **STANDBY/ON** ボタンを押して、電源をオフにします。

終了処理中は終了中画面が表示され、終了処理が完了すると表示が消え、**STANDBY/ON** インジケーターが赤く点灯します。

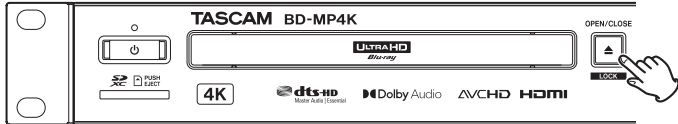
### 注意

本機が動作中(再生中、USBメモリーにデータを書き込み中など)は電源をオフにする、または電源コードを抜かないでください。機器の破損の原因になる可能性があります。

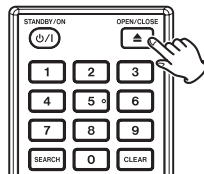
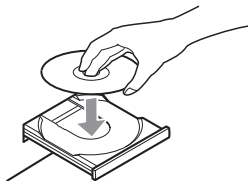
## ディスクをセットする / 取り出す

### ディスクをセットする

本体、またはリモコンの OPEN/CLOSE ボタン (▲) を押します。ディスクトレイを開き、レーベル面を上にしてディスクを置きます。再度 OPEN/CLOSE ボタン (▲) を押して、ディスクトレイを閉じます。



本体の OPEN/CLOSE ボタン



リモコンの OPEN/CLOSE ボタン

ディスクをセットすると本機がディスクの情報を読み取ります。ディスクの読み込み中は、ディスプレイに "LOAD" と表示し、読み込みが完了後に下記を表示します。

- ブルーレイディスク : "BDMV"、"BDLV"
- DVDディスク : "DVD"
- オーディオCD : "CD"
- DATA CD など : "DATA"

#### メモ

- ディスクトレイが、開いている時はディスプレイに "OPEN" を表示します。(ディスクトレイが閉まる時は、閉まるまでディスプレイに "CLOSE" を表示します。)
- 再生可能な CD 以外のディスクを挿入する、またはディスクを裏返して挿入した場合は、自動的に排出されます。

### ディスクを取り出す

本体、またはリモコンの OPEN/CLOSE ボタン (▲) を押します。ディスクトレイが開いたら、ディスクの中心を持って取り出します。

#### メモ

OPEN/CLOSE ボタン (▲) は、本体の電源がオンのときに機能します。

## SD カードを挿入する / 取り出す

### SD カードを挿入する

本機で再生を行うには、フロントパネルの SD カードスロットに SD カードを挿入します。

#### メモ

電源がオン / オフどちらのときも SD カードを挿入することができます。

- SD カードを正しい向きに挿入します。
- ラベル面を上、端子部を奥にして挿入します。

### SD カードを取り出す

電源をオフにするか、動作を停止してから、SD カードを取り出します。

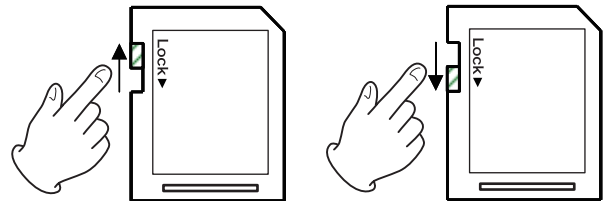
#### 注意

本機が動作中 (再生中など) は、絶対に SD カードを取り出さないでください。データが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になるなどの可能性があります。

1. SD カードを軽く押し込むと手前に出てきます。
2. 手でつまんで SD カードを引き出します。

### SD カードのライトプロテクトスイッチについて

SD カードには、ライトプロテクト (書き込み防止) スイッチが付いています。



## USB メモリーを挿入する / 取り外す

### USB メモリーを挿入する

本機で再生を行うには、リアパネルの USB 端子に USB メモリーを挿入します。

#### メモ

電源がオン / オフどちらのときも USB メモリーを挿入することができます。

### USB メモリーを取り外す

電源をオフにするか、動作を停止してから、USB メモリーを取り外します。

#### 注意

本機が動作中 (再生中、USB メモリーにデータを書き込み中など) は、絶対に USB メモリーを取り出さないでください。データが破損したり、機器の破損の原因になる可能性があります。

## パネルロック機能

ロック機能を使うことで、ディスクトレイの開閉、リモコンや本体ボタンからの操作をロックすることができます。

1. フロントパネルの **HIDE MENU [SHIFT]** ボタンと **OPEN/CLOSE [LOCK]** ボタンを同時に押す。  
現在のロック状態が本体のディスプレイに表示されます。
2. 本体の **HIDE MENU [SHIFT]** ボタンを押したまま、再度 **OPEN/CLOSE [LOCK]** ボタンを押す。
  - 押すたびにロック状態が切り換わります。
  - ロックしたい機能が本体ディスプレイに表示されるまで、**HIDE MENU [SHIFT]** ボタンを押したまま、繰り返し **OPEN/CLOSE [LOCK]** ボタンを押してください。

本体ディスプレイ表示	ロック状態
LOCK: T LOCK	ディスクトレイロック
LOCK: P LOCK	本体ボタンロック*
LOCK: R LOCK	リモコンロック
LOCK: R+P LOCK	リモコン+本体ボタンロック*
LOCK: R+T LOCK	リモコン+ディスクトレイロック
LOCK: OFF	ロック解除

\* 本体ボタンがロックされているときでも、本体の **HIDE MENU [SHIFT]** ボタンと **OPEN/CLOSE [LOCK]** ボタンの同時押しは有効です。

### ロック状態のときに

フロントパネルが各ロック状態のときに操作をしようとした場合、その操作は実行されず、本体ディスプレイに "LOCKED" と表示されます。

#### メモ

- ディスクトレイが開いているときに "ディスクトレイロック" または "リモコン+ディスクトレイロック" を設定した場合、1度だけディスクトレイを閉じる操作は可能です。その後、ディスクトレイはロックされます。
- ロック状態のまま、電源「オフ」にした場合でも、電源をオンにする操作は可能です。起動後は、ロック状態を維持しています。

## リモートコントロール

本機の **RS-232C** 端子とパソコンの RS-232C ポートを RS-232C ケーブルで接続したり、本機の **ETHERNET** 端子とパソコンの LAN 端子を LAN ケーブルで接続することで、外部から本機を操作することができます。

- 本機の **ETHERNET** および **RS-232C** の通信コマンドプロトコルについては、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/>) の **BD-MP4K** ダウンロードページをご参照ください。

## BD-Live について

本機は、BD-Live 機能付きの BD-Video (BD-ROM Profile 2.0) に対応しています。

本機をインターネットに接続することで、特別な映像や字幕などの追加コンテンツの機能をご使用になれます。

- BD-Live で利用できる様々な機能は、ディスクにより異なります。詳しい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live 機能を利用するには、本機をインターネットに接続し、必要な設定を行ってください。接続のしかたについては 42 ページの「ネットワーク接続について」を、設定のしかたについては 19 ページの「ネットワーク」をご覧ください。
- ディスクによっては、19 ページの「ネットワーク」設定を変更する必要があります。
- 19 ページの「ネットワーク」の "BD-Live コネクション" 設定が "禁止" に設定されている場合は、BD-Live コンテンツからのインターネットアクセスができません。
- お使いのネットワーク環境によっては、ネットワーク接続に時間がかかったり、接続できなかったりする場合があります。
- BD-Live 対応ディスクの再生中、本機またはディスクの識別 ID がコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには、19 ページの「ネットワーク」設定を変更してください。

## 再生可能なメディアについて

本機で、以下のフォーマットを再生することができます。

### ディスクメディア

- 対応ブルーレイ  
4K Ultra HD Blu-ray、BD25、BD50、BD-ROM、BD-R、BD-RE
- 対応DVD  
DVD-ROM、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW
- 対応CD  
CD-DA、CD-R、CD-RW

### ディスクフォーマット

- 対応ブルーレイ  
BDMV、BD-RE
- 対応DVD  
DVD-Video、DVD-VR、AVCHD

### メモ

- ファイナライズ(クローズ)していないBD-R/DVD-RW/DVD-Rは、正常に再生できないことがあります。
- BD-RE Ver 1.0(カートリッジタイプ)/DVD-RAMは、再生できません。
- マルチボーダー(マルチセッション)で記録したBD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-Rは、追加して記録された部分の再生ができません。
- BD-Video/DVD-Video ディスクの場合、ソフト制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 音楽用CDは、ISO規格に合致したディスクをご使用ください。
- 対応ディスクであっても、すべての再生を保証するものではありません。

## 再生可能ファイル(ビデオ、オーディオ、または画像)

本機では、以下のフォーマットを再生することができます。

### ビデオフォーマット

- .asf、.mpg、.avi、.3gp、.dat、.mkv、.mov、.m2ts、.ogm、.tp、.ts、.mp4、.wmv

### オーディオフォーマット

- .wav、.mp3、.wma、.aac、.flac、.ape

### 静止画フォーマット

- .jpeg、.gif、.png

### メモ

USBメモリー/SDカードは、FAT16、FAT32、exFATまたはNTFSファイルシステムでフォーマットされている必要があります。

## メディアの再生

ここでは、再生/再生待機状態/停止などの基本操作について説明します。

以下の説明では、必要な接続を終え、本機の電源がオンになっている、ビデオ/オーディオディスク、ビデオ/オーディオファイルが記録されたメディアがセットされている、またはネットワークドライブと接続されていることを前提にしています。

### 自動再生について

- 本機は、HOME画面の**「設定」-「システム」-「自動再生」**の選択で、**「オン(リピートオン)」**または**「オン(リピートオフ)」**を選んでいる場合は、次の場合に自動的にディスクの再生を開始します。
  - ディスクがセットされたとき(ディスクトレイを閉めた際)
  - 電源投入時(パワーオンプレー)
- **「自動再生」**の選択で**「オフ」**を選択している場合、または再生が開始しない場合は、HOME画面で**「ディスク」**を選択して、**ENTER**ボタン、または**▶**ボタンを押してください。

### 注意

- 自動再生をオンにしている場合に、ディスクのセットを行うとディスクの自動再生が実行されますので、下記の操作中はご注意ください。
  - HOME画面で設定中
  - SDカード/USBメモリー/ネットワークドライブでメディアを再生中
- 自動再生については、SDカード/USBメモリー/ネットワークドライブに対応しておりません。対応するディスクでのみ使用できます。

### ビデオディスクの再生

- 以前に再生したことがないディスクが挿入された場合には、最初からディスクの再生を開始します。
- HOME画面の**「設定」-「システム」-「ラストメモリー」**の選択で、**「オン(初期設定は「オン」)」**を選んでいる場合は、以前に再生したディスクが挿入されると、最後に停止した位置から再生するかどうかの確認画面が出ます。**ENTER**ボタンで最後に停止した位置から、**RETURN**ボタンで先頭から再生します。確認画面のまま5秒経過した場合は、最後に停止した位置から再生します。
- \* 市販のビデオディスクやレンタルビデオディスクのみ対応。また、本機のラストメモリー機能で記憶できるディスク枚数は、最大5枚です。ディスクが5枚を越えると最も古いディスクの記憶を新しいディスクに書き換えます。

### ディスクのトップメニューやポップアップメニューから操作するときは

ビデオディスクにメニューやポップアップメニューがある場合、メニューを表示して、いろいろな操作ができます。

(ディスクソフトによってメニューやポップアップメニューの内容が異なります。)

- タイトルメニューを表示するには、**TOP MENU**ボタンを押します。このとき再生中/再生待機中の場合、再生を停止します。再生中/再生待機中を停止せずに、タイトルメニューを表示するには、**TITLE/POP UP**ボタンを押します。タイトルメニュー項目の移動は、カーソルボタンで移動し、選択は**ENTER**ボタンで決定します。

## 再生を再生待機状態にする

再生を再生待機状態にするには、**II** ボタンを押します。  
もう一度、**II** ボタンまたは **▶** ボタンを押すと停止した位置から再生を開始します。

## 再生を停止する

再生を停止するには、**■** ボタンを押します。  
再生を再開するには、**▶** ボタン、または **ENTER** ボタンを押すと停止した位置から再生を開始します。

### メモ

- 表示中のモニター画面が消えます。
- リピート再生中は、リピートモードをクリアされます。

## 早戻し / 早送りサーチ

早戻し / 早送りサーチは、**◀◀ / ▶▶** ボタンで行います。  
**◀◀ / ▶▶** ボタンを押すたびに、サーチスピードは5段階で切り換わります。  
もう一度、ボタンを押すと再生に戻ります。  
ディスクの早戻し / 早送りサーチ中に **II** ボタンを押すと再生待機中になります。  
もう一度、**II** ボタンを押すと再生に戻ります。

### ヒント

本体のボタンでサーチスピードを変えるには、長押しを繰り返します。

## 前後のチャプター / トラックにスキップする

**◀◀ / ▶▶** ボタンを押すたびに、前後のチャプター / トラックに移動します。  
● 再生中 / 再生待機中、または早戻し / 早送りサーチ中に **◀◀ / ▶▶** ボタンを押すと、前後のチャプター / トラックに移動し、再生を再開します。  
● 現在再生中のチャプター / トラックの先頭に戻るには、**◀◀** ボタンを1回押します。  
(ただし、現在のチャプター / トラックが再生中 / 再生待機中の最初の数秒以内だった場合は、前のチャプター / トラックに移動し、再生を再開します。)

### メモ

スキップ後は再生になります。(Auto Ready のように)  
スキップ後一時停止で待機はできません。

## スロー再生

再生中にリモコンの **▶** ボタンを押すとスロー再生になります。**▶** ボタンを押すたびに、スロー再生スピードは4段階で切り換わります。  
1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2 → 通常再生

## 一部のシーン(またはトラック)をリピート再生\*する

\* この場合のリピート再生は、自動再生のリピート機能とは異なります。電源をオフしても、再生位置の記憶は行いません。  
自動再生のリピート機能については18 ページの「プレイバック」の「自動再生」を参照してください。  
メディアの再生中に **A-B** ボタンを押すと、任意の区間 (A 点 - B 点) を指定して、繰り返し再生することができます。  
(オーディオファイルの場合、"シーン"を"トラック"に置き換えてください。)

1. リピートさせたいシーンの開始位置で、**A-B** ボタンを押すと、モニター画面上部に開始位置 "**A**" を表示します。
2. 次にリピートさせたいシーンの終了位置で、**A-B** ボタンを押すと、モニター画面上部に開始 / 終了位置 "**A-B**" を表示し、開始 (**A**) 位置から終了 (**B**) 位置のリピート再生を繰り返します。

### ヒント

**CLEAR** ボタンで開始位置 (A 点) をクリアできます。




3. リピート再生中にもう一度、**A-B** ボタンを押すと、リピート再生が解除され、通常の再生を続行します。  
(ビデオディスクの場合、対応するディスクでのみ使用可能です。)

## チャプター、タイトル(またはトラック)をリピート再生\*する



\* この場合のリピート再生は、自動再生のリピート機能とは異なります。電源をオフしても、再生位置の記憶は行いません。  
自動再生のリピート機能については18 ページの「プレイバック」の「自動再生」を参照してください。

**REPEAT** ボタンを押すとリピート再生モードになり、現在再生しているチャプターやタイトル、またはトラックをリピート再生します。ボタンを繰り返す押すと、リピート再生モードの切り換えが可能です。

### ビデオディスク

- チャプターのリピート再生(モニター画面上に  マークを表示)の場合、現在のチャプターの先頭から再生します。
- タイトルのリピート再生(モニター画面上に  マークを表示)の場合、現在のタイトルの先頭から再生します。
- 全体のリピート再生(モニター画面上に  マークを表示)の場合、ビデオディスクの先頭から再生します。

### CD、ビデオ/オーディオファイル

- 単体のリピート再生(モニター画面上に  マークを表示)の場合、現在のトラックの先頭から再生します。
- 全体のリピート再生(モニター画面上に  マークを表示)の場合、CDでは全曲、ビデオ/オーディオファイルでは、フォルダー内の全ファイルをリピート再生します。



## 特定の再生時間、またはシーン(トラック)にジャンプする

(オーディオディスクの場合、"チャプター"を"トラック"に置き換えてください。)

ディスクの再生中に **SEARCH** ボタンを押すと、モニター画面上部に情報バーを表示し、時間表示部にカーソルを表示します。



この状態で [**←**]/[**→**] カーソルボタンを押すと、時間表示部とチャプター表示部の切り換えを選択できます。



### メモ

特定のチャプター、または再生時間を指定するには、再生中のディスクの再生時間、またはチャプター数の範囲内に限ります。範囲を超える数値指定はできません。

### 特定の再生時間へジャンプする

- この状態で **ENTER** ボタンを押すと、時間表示部が選択され、数値の変更が可能になります。



- 数値の入力は、数字ボタンで入力します。  
"時:分:秒"の移動は、[**←**]/[**→**] カーソルボタンで切り換えます。(下図では"分:秒"に任意の数値を入れた状態です。)



- 数値の入力後、**ENTER** ボタンを押すと、指定時間から再生が始まります。(チャプター表示も指定時間先のチャプターへ移動します。)

チャプター表示	時間表示
時:分:秒	時:分:秒



情報バーは、**ON SCREEN**ボタンを押すと閉じます。

### 特定のチャプター (またはトラック)へジャンプする

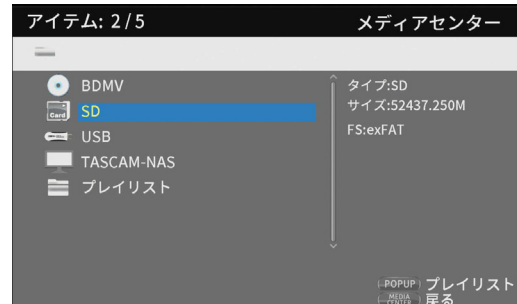
- 時間表示部のカーソルを [**←**]/[**→**] カーソルボタンで、チャプター表示部に切り換えます。  
この状態で **ENTER** ボタンを押すと、チャプター表示部が選択され、数値の変更が可能になります。



- 数値の入力は、数字ボタンで入力します。
- 数値の入力後、**ENTER** ボタンを押すと、指定チャプターから再生が始まります。(表示時間も指定チャプター先の時間に变化します。)  
情報バーは、**ON SCREEN**ボタンを押すと閉じます。

## USB メモリー /SD カード /DATA ディスク / ネットワークドライブの再生

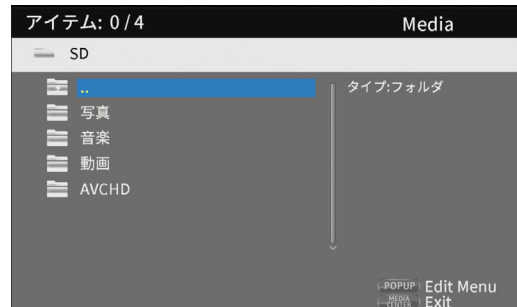
- HOME 画面で "**メディア**" を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
- メディアアイコンを表示しますので、再生したいファイルのあるアイコンを [**↓**]/[**↑**]カーソルボタンで選択し、**ENTER** ボタンを押します。



メディアの読み込み中は、ディスプレイに "LOAD" と表示し、読み込みが完了後に下記を表示します。

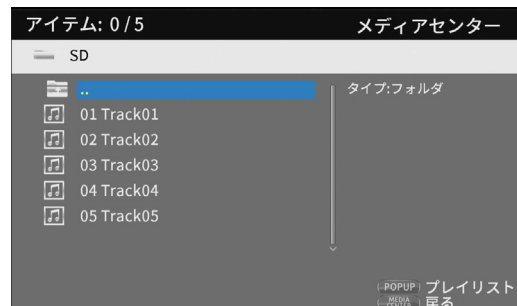
- USBメモリー : "USB"
- SDカード : "SD"
- ネットワークメディア : ネットワーク名

選択したアイコンが開くと下記のフォルダを表示します。



- ... : 上位フォルダ
- 写真 : 写真フォルダ
- 音楽 : 音楽フォルダ
- 動画 : 動画フォルダ
- AVCHD : 高画質動画フォルダ

- 目的のフォルダを選択して、**ENTER**ボタンを押します。フォルダ内のファイルを表示します。(例: 音楽フォルダを開いた状態)

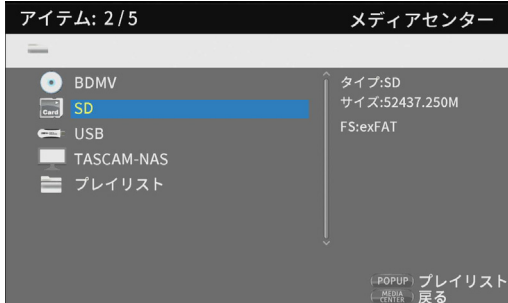


- [**↓**]/[**↑**]カーソルボタンでファイルを選択し、**▶** ボタンを押すとメディアの再生を開始します。  
ファイルを選択中は、下記情報をモニター右側に表示します。
  - 画像ファイルの場合は、サムネールを表示
  - 音楽 / 動画ファイルの場合は、各種情報を表示

## USB メモリー /SD カード /DATA ディスクのプレイリスト再生

### プレイリスト内にファイルを追加する

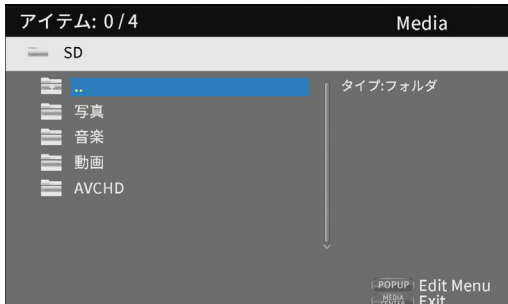
1. HOME 画面で "メディア" を選択し、ENTER ボタンを押します。
2. メディアアイコンを表示しますので、再生したいファイルのあるアイコンを [▽]/[△]カーソルボタンで選択し、ENTER ボタンを押します。



メディアの読み込み中は、ディスプレイに "LOAD" と表示し、読み込みが完了後に下記を表示します。

- USBメモリー : "USB"
- SDカード : "SD"

選択したアイコンが開くと下記のフォルダを表示します。



- ... : 上位フォルダ
- 写真 : 写真フォルダ
- 音楽 : 音楽フォルダ
- 動画 : 動画フォルダ
- AVCHD : 高画質動画フォルダ

### メモ

- プレイリストには、写真ファイル、オーディオファイル、またはビデオファイルのみを含めることができます。メディアが異なるプレイリストは、作成できません (例: 写真とビデオファイルを含むプレイリスト)。
- ネットワーク上のファイルはプレイリストに追加することはできません。
- プレイリストは、メディアファイルを選択した順序で再生します。

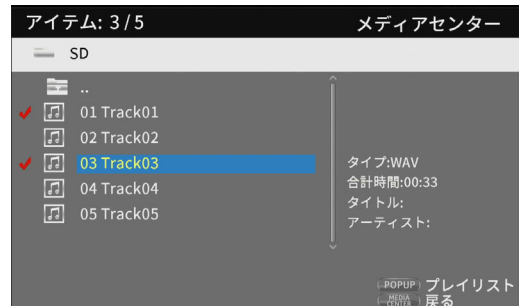
### 注意

- プレイリストは電源がオフ(スタンバイ状態)になるとクリアされます。
- USBメモリーまたはSDカードを取り外すとそのメディアにあったファイルはプレイリストから削除されます。

3. プレイリストに入れたいファイルを選択して、TITLE/POP UPボタンを押すとポップアップメッセージを表示します。

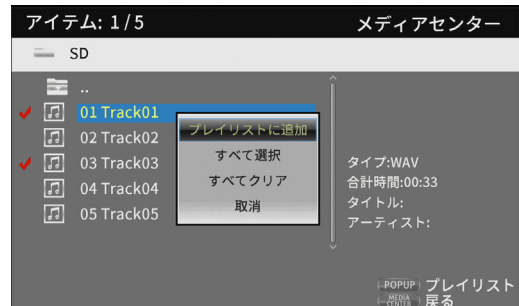


4. [▽]/[△]カーソルボタンで、ポップアップメッセージの "プレイリストに追加" を選択して、ENTER ボタンを押すと選択中のファイルをプレイリストに格納します。
  - また、ファイルを選択中に [▷]カーソルボタンを押すと、ファイルの先頭にチェックマークが付いて、そのファイルが選択状態になります。

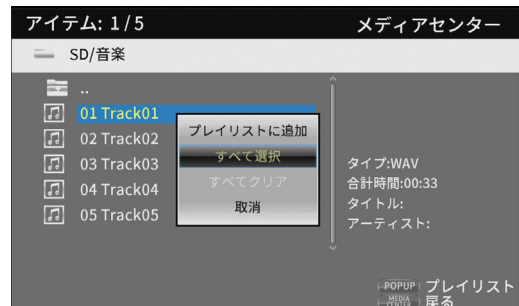


もう一度、[▷]カーソルボタンを押すとファイルの先頭のチェックマークが外れます。

- 必要なファイルにチェックマークを付けたら、TITLE/POP UPボタンを押し、ポップアップメッセージを表示させます。[▽]/[△]カーソルボタンで "プレイリストに追加" を選択し、ENTER ボタンを押すとチェックマーク付きファイルをプレイリストに格納します。



- また、[手順3.] でポップアップメッセージの "すべて選択" を選択し、ENTER ボタンを押すとフォルダ内の全ファイルにチェックマークが付加されます。

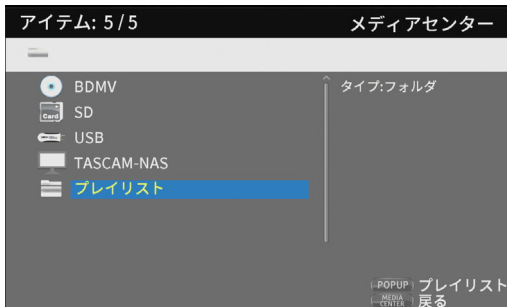


- ファイルにチェックマークを付けた状態で TITLE/POP UP ボタンを押し、ポップアップメッセージを表示させます。[▽]/[△]カーソルボタンで "プレイリストに追加" を選択し、ENTER ボタンを押すとチェックマーク付きファイルをプレイリストに格納します。

- ポップアップメッセージの**"すべてクリア"**を選択し、**ENTER**ボタンを押すと全ファイルのチェックマークが外れます。または、フォルダ内から抜け出すと全ファイルのチェックマークが外れます。  
何もしない場合は、**"取消"**を選択して、**ENTER**ボタンを押すか、**[<]**カーソルボタンを押すと元に戻ります。

### プレイリスト内のファイルを再生する

1. HOME画面で**"メディア"**を選択し、**ENTER**ボタンを押します。
2. 各メディアアイコンを表示しますので、プレイリストフォルダを**[<v]/[<h]**カーソルボタンで選択し、**ENTER**ボタンを押します。



メディアの読み込み中は、ディスプレイに**"LOAD"**と表示し、読み込みが完了後に下記を表示します。

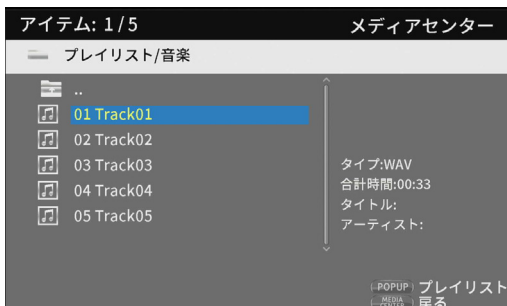
- USBメモリー : **"USB"**
- SDカード : **"SD"**

プレイリストフォルダが開くと下記のフォルダを表示します。



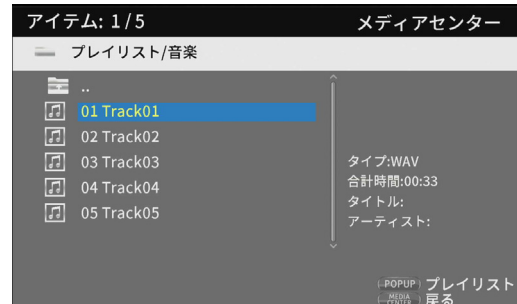
- ... : 上位フォルダ
- 写真 : 写真フォルダ
- 音楽 : 音楽フォルダ
- 動画 : 動画フォルダ

3. 再生を開始するファイルを選択して**ENTER**ボタン、または**▶**ボタンを押すとプレイリストの再生が開始します。

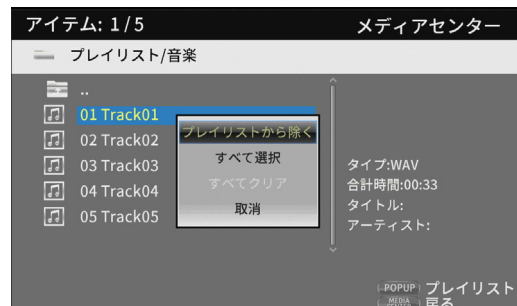


### プレイリスト内のファイルを解除する

1. プレイリストを解除するには、プレイリストアイコンを選択し、ファイルを格納してあるフォルダを開きます。



2. プレイリストからファイルを個別に解除する場合、ファイルを選択して、**[>]**カーソルボタンを押すと、ファイルの先頭にチェックマークが付きます。



- ここで、**TITLE/POP UP**ボタンを押し、ポップアップメッセージを表示させ、**[<v]/[<h]**カーソルボタンで**"プレイリストから除く"**を選択し、**ENTER**ボタンを押すとチェックマーク付きファイルをプレイリストから解除します。
3. プレイリストから全ファイルを解除する場合、**TITLE/POP UP**ボタンを押し、ポップアップメッセージから**"すべて選択"**を選択して、**ENTER**ボタンを押すとフォルダ内の全ファイルにチェックマークが付加されます。  
もう一度、**TITLE/POP UP**ボタンを押し、ポップアップメッセージを表示させ、**[<v]/[<h]**カーソルボタンで**"プレイリストから除く"**を選択し、**ENTER**ボタンを押すとチェックマーク付きファイルをプレイリストから解除します。

## プログラム再生する

本機では、ビデオ、またはオーディオディスクの内容(タイトル/チャプター、またはトラック)を特定の順番で再生することができます。

1. プログラム再生したいディスクを再生します。
2. ディスク再生中または一時停止中に **PROGRAM** ボタンを押します。モニターに下記のプログラムページが表示されます。

### 注意

操作途中で、**PROGRAM** ボタンを押すと設定中の内容はクリアされ、ボタンを押す前の状態に戻ります。

[DVD 画面]



[CD 画面]



プログラムページでは、再生順を指定するメディアの種類(タイトル/チャプター、またはトラック)と合計プログラム数(最大15個)と各種操作するボタン名\*(Play/Clear/Stop)を表示します。

\* リモコンの対応ボタン

- [Play] : ▶ ボタン
- [Clear] : **CLEAR** ボタン
- [Stop] : **RETURN** ボタン

3. プログラムページで、フィールド①から再生したい内容を順に以下の手順で入力します。

1. まず、フィールド①で **ENTER** ボタンを押して、タイトル/チャプター、またはトラックを [▼]/[へ] カーソルボタンで選択します。

[DVD 画面]



- ビデオディスクの場合、先にタイトル入力フィールドに再生したいタイトル番号\*を [▼]/[へ] カーソルボタンで選択し、[>] カーソルボタンでチャプター入力フィールドに移動し、再生したいチャプター番号\*を [▼]/[へ] カーソルボタンで選択します。
- 入力した番号は **CLEAR** ボタンで、[O]にもどります。
- **RETURN** ボタンで、プログラムページをキャンセルします。(入力した内容もクリアにします。)

\* ディスクに収録されている範囲内で、選択可能です。

[CD 画面]



- オーディオディスクの場合、トラック入力フィールドに再生したいトラック番号\*を [▼]/[へ] カーソルボタンで選択します。
- 入力した番号は **CLEAR** ボタンで、[O]にもどります。
- **RETURN** ボタンで、プログラムページをキャンセルします。(入力した内容もクリアにします。)

\* ディスクに収録されている範囲内で、選択可能です。

### 注意

次の場合にプログラム内容はクリアされます。

- HOME画面に戻ったとき
- ディスクを取り出したとき
- 電源をオフ(スタンバイ状態)にしたとき

2. 希望する再生数の入力を完了後、▶ ボタンを押すと、プログラムの再生が開始されます。

### メモ

プログラムページが表示されている間は、下記のボタン以外は使用できません。

[▶ ボタン]、[**CLEAR** ボタン]、[**RETURN** ボタン]、[カーソルボタン]、[数字ボタン]

---

## ブックマークを設定する

本機では、ビデオディスクの特定の場所を記憶するブックマークの設定ができます。内蔵メモリーに最大12個のブックマークを保存します。

- ブックマークを作成するには、ビデオ再生中に希望の場所で **MARK** ボタンを押します。
- モニター画面にブックマークの番号、現在のタイトル、現在のチャプター、および現在の時間が表示されます。

### ブックマークにジャンプするには

1. **MARK** ボタンを6秒間押し続けます。  
再生が一時停止し、利用可能なブックマークがモニター画面に表示されます。
2. [←]/[→]カーソルボタンを使用して、ブックマークを移動します。ブックマークを選択すると、現在のブックマーク数、現在のタイトル、現在のチャプター、および現在の時刻が表示されます。使用可能なブックマークは白で、未使用のブックマークはグレーで表示されます。
3. **ENTER** ボタンを押して、目的のブックマークにジャンプします。そのブックマークの場所から再生が開始します。操作をキャンセルして通常の再生に戻すには、**MARK** ボタンを押します。

#### 注意

次の場合にブックマークの内容はクリアされます。

- HOME画面に戻ったとき
- ディスクを取り出したとき
- 電源をオフ(スタンバイ状態)にしたとき

### ブックマークを消去するには

1. **MARK** ボタンを6秒間押し続けます。  
再生が一時停止し、利用可能なブックマークが画面に表示されます。
2. 最後に作成したブックマークを消去するには、**CLEAR** ボタンを押します。
3. **MARK** ボタンを押してブックマークを閉じ、通常の再生に戻ります。

---

## 写真の再生

写真を表示中にカーソルボタンを使って画像の回転、反転をすることができます。

- 左回転 : [←]カーソルボタン
- 右回転 : [→]カーソルボタン
- 上下反転 : [↑]カーソルボタン
- 左右反転 : [↔]カーソルボタン

---

## 本機での音量調整

再生中に音量を調節するには、**- / +** ボタン (**VOL**) を使用します。ある程度、音量を上げても再生音が聞こえない場合、モニターやテレビ、アンプなどの音源側の音量調整を行ってください。

#### メモ


本機でリモコンの**- / +** ボタン (**VOL**) が機能しない場合、HOME画面の"**設定**"-"**オーディオ設定**"-"**オーディオ出力**"-"**音量調節**"の選択で、"**有効**"を選択してください。


アナログ、デジタル(COAXIAL)、HDMIのすべての音量が変わります。

---

## 本機でのミュート

本機では **MUTE** ボタンを押すと、再生中の音を消す(ミュート)ことができます。

ミュート中は、モニター画面にアイコン""を表示します。

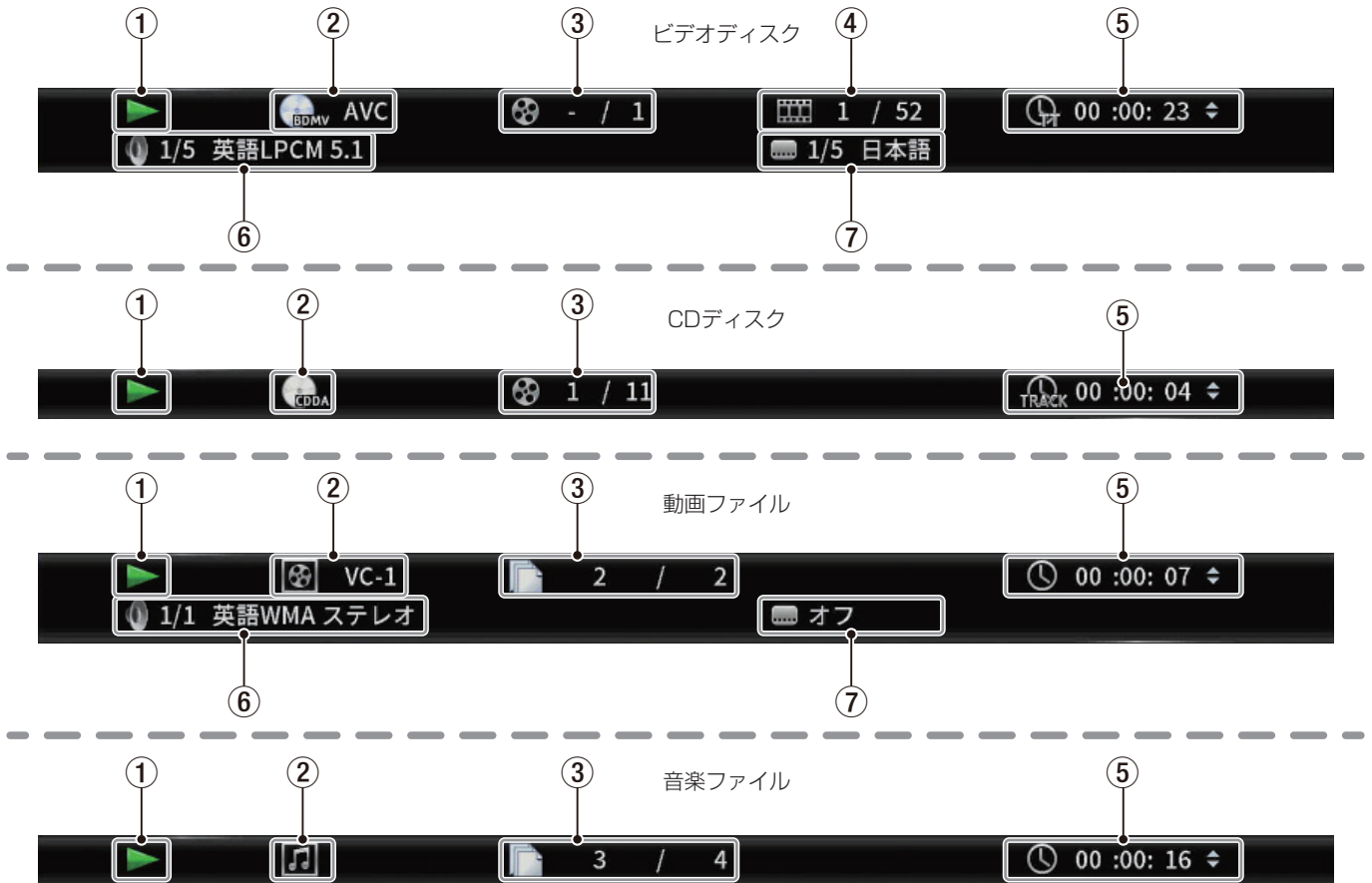
もう一度、**MUTE** ボタンを押すと、ミュートを解除してモニター画面にアイコン""を表示します。(このアイコンは、しばらくするとモニター画面から消えます。)

アナログ、デジタル(COAXIAL)、HDMIのすべての出力がミュートされます。



## モニター画面の情報バー (ON SCREEN)について

リモコンの ON SCREEN ボタンを押すとモニター画面上に情報バーを表示します。



### ① 動作状態

現在の動作状態を表示します。

- ▶ : 再生中
- || : 再生待機中
- ◀◀ X : 早戻し X (1 ~ 5を表示)
- ▶▶ X : 早送り X (1 ~ 5を表示)
- ⏮ : 後スキップ
- ⏭ : 前スキップ
- ⏪ : スロー再生 X
- ⊘ : 操作不可

### ② メディア / ファイル表示

再生中のメディア / ファイルの種類を表示します。

### ③ タイトル / トラック表示

現在のタイトル / トラック番号を表示します。

### ④ チャプター表示

現在のチャプターを表示します。

### ⑤ 再生時間表示

現在の再生時間を表示します。

[▼]/[↑] カーソルボタンを押すと、時間表示を切り換えることができます。

- BDMV、DVD Video、動画の場合
  - タイトルの経過時間(TT)
  - タイトルの残り時間(-TT)
  - チャプターの経過時間(CH)
  - チャプターの残り時間(-CH)
- オーディオCDの場合
  - トラックの経過時間(Track)
  - Trackの残り時間(-Track)
  - ディスクの経過時間(Disc)
  - ディスクの残り時間(-Disc)
- ファイルの場合
  - ファイルの経過時間
  - ファイルの残り時間

### ヒント

リモコンの TIME DISPLAY ボタンを押すことでも時間表示を切り換えることができます。

### ⑥ オーディオ設定表示

現在のオーディオ設定を表示します。

AUDIO ボタンを押すと、使用可能なオーディオ設定を切り換えます。

### ⑦ 字幕言語表示

現在の字幕設定を表示します。

SUBTITLE ボタンを押すと、選択可能な字幕言語を切り換えます。



# スピーカー設定について

## チャンネル構成

HOME画面の"設定"->"オーディオ設定"->"スピーカー設定"でスピーカーのチャンネル構成を行います。

1. サブメニューの"チャンネル構成"で接続するスピーカーの数を選択します。



[>]カーソルボタン、またはENTERボタンを押すと機能設定に移動します。[<]/[v]カーソルボタンで使用するスピーカーの数を選択し、ENTERボタンで決定します。

2. チャンネルモード選択画面でチャンネルモードを選択します。



### 選択肢

スピーカーの数	チャンネルモード選択
2.x	Lt/Rt, Stereo
3.x	LCR
4.x	LRLsRs
5.x	なし
6.x	なし
7.x	C+LR+LssRss+LsrRsr

[<]/[v]カーソルボタンでチャンネルモードを選択し、ENTERボタンで決定します。

### メモ

選択したスピーカー数によってはこの画面は表示されません。

3. サブウーファーの選択画面でサブウーファーを選択します。



[<]/[v]カーソルボタンでサブウーファーを選択し、ENTERボタンで決定します。

4. スピーカー設定画面で各スピーカーの設定を行います。



[7.x: C+LR+LssRss+LsrRsrのときの例]

[<]/[v]カーソルボタンで設定したいスピーカーを選択し、ENTERボタンで決定します。

5. 選択したスピーカーで設定できる項目が表示されるので、[<]/[v]カーソルボタンで設定したい項目を選択し、ENTERボタンで決定します。



RETURNボタンでスピーカー選択に戻ります。

### メモ

サブウーファーの設定はトリムの変更のみとなります。

6. サイズの変更

[へ]/[v]カーソルボタンで"サイズ"を選択し、ENTERボタンで決定します。サイズの選択肢("大"/"小")が表示されます。



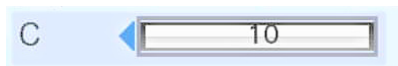
[へ]/[v]カーソルボタンで"大"または"小"を選択し、ENTERボタンで決定します。

メモ

スピーカーペアで異なるサイズを選択することはできません。

7. トリムの変更

[へ]/[v]カーソルボタンで"トリム"を選択し、ENTERボタンで決定します。トリム調整画面が表示されます。



[Cの例]

[<]/[>]カーソルボタンで値を変更し、ENTERボタンで決定します。

調整範囲 -10 ~ 0 ~ 10、0.5刻み (単位 : dB)

メモ

ペアの場合はカーソル"◀"/"▶"が表示されている方の値のみが変更できます。切り換えるには [へ]/[v]カーソルボタンを使います。

8. デイレイの変更

[へ]/[v]カーソルボタンで"デイレイ"を選択し、ENTERボタンで決定します。デイレイ調整画面が表示されます。



[Cの例]

[<]/[>]カーソルボタンで値を変更し、ENTERボタンで決定します。

調整範囲 0 ~ 1000、5刻み (単位 : cm)

メモ

- 単位は cm です。あらかじめ各スピーカーとリスニングポイントの距離を実測し差分を計算したものを設定します。(デイレイ時間は29 μsec/cm)
- ペアの場合はカーソル"◀"/"▶"が表示されている方の値のみが変更できます。切り換えるには [へ]/[v]カーソルボタンを使います。

## テストトーン

各スピーカーにテストトーン（ホワイトノイズ）を出力し、スピーカーの接続の確認とトリム調整を行うことができます。また、サイズ及びディレイ値の変更も行うことができます。

1. HOME画面の「設定」-「オーディオ設定」-「スピーカー設定」-「テストトーン」と選択します。チャンネル構成時と同様のスピーカー設定画面が現在の構成で表示されます。



[7.x、C+LR+LssRss+LsrRsrのときの例]

スピーカー Lから右回りに順次スピーカーを切り換えてテストトーンを出力します。

例 7.x- C+LR+LssRss+LsrRsrのとき、L→C→R→Rss→Rsr→Lsr→Lss→Lの順に出力されるスピーカーが変わります。

2. 設定したいスピーカーが黄色でハイライトされているときにENTERボタンを押すとそのスピーカーのサイズ及び、トリム、ディレイの設定値が変更できます。



現在ハイライトとされているスピーカーとそのペアとなるスピーカーの現在のサイズ及び、トリム、ディレイの設定値が画面左下に表示されます。

L (大, 10.0 db, 0 cm)  
R (大, 10.0 db, 0 cm)

3. サイズ、トリム、ディレイの変更方法はチャンネル構成と同様です。

### メモ

テストトーンではサブウーハーは調整できません。

## ネットワーク接続について

HOME 画面の "設定" - "基本設定" - "ネットワーク" でネットワーク接続の設定を行います。

1. サブメニューの "インターネット接続" から "有効" を選択します。



[>]カーソルボタン、または ENTER ボタンを押すと機能設定に移動します。[▽]/[△]カーソルボタンで "有効/無効" を選択し、ENTER ボタンで決定します。

サブメニュー内から抜け出す場合は、[<]カーソルボタンを繰り返し押し、最初の画面に戻ります。

2. 本機をインターネットにアクセスする方法をサブメニューの "インターフェース" から "イーサネット"、または "ワイヤレス\*" を選択します。

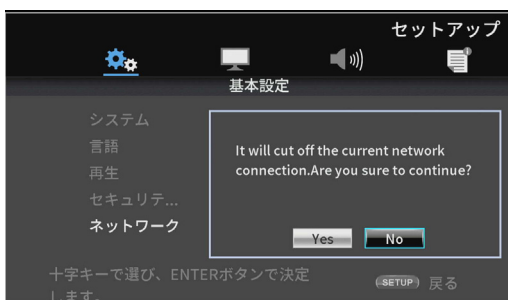
\* ワイヤレス接続は、USB-無線LANアダプタを本機に接続した場合のみ使用可能です。

(本機に USB-無線LAN アダプタは、付属していません。別途、ご用意ください。推奨の無線LAN アダプタは、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) をご参照ください。)



[>]カーソルボタン、または ENTER ボタンを押すと機能設定に移動します。[▽]/[△]カーソルボタンで "イーサネット/ワイヤレス" を選択し、ENTER ボタンで決定します。

現在の設定を切り換える際、下記のメッセージを表示します。



続行する場合は "Yes" を選択して、ENTER ボタンを押してください。

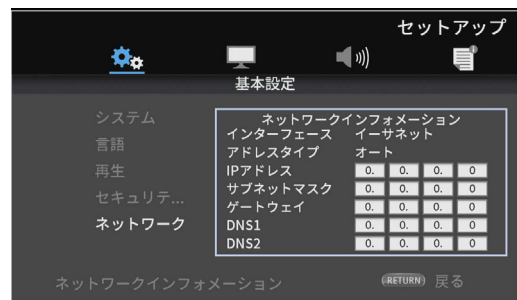
- ワイヤレス接続を選択した場合
  - 下記の接続方法を選択できます。
    - Scan
      - アクセスポイントの検索を行い、接続先を選択できます。
    - マニュアル
      - 手で SSID を設定し、接続できます。
    - オート
      - WPS(Wi-Fi Protected Setup)規格による接続ができます。

3. IPv6を使用する場合にはサブメニューの "IPv6有効化設定" を "有効" にします。



有効にした場合、"優先IPバージョン" で IPv4 と IPv6 のどちらを優先にするかを選択します。

4. サブメニューの "IPv4情報" からネットワーク情報(ネットワークインフォメーション)を下記の画面から確認します。



RETURN ボタンを押すと、前画面に戻ります。

- 表示する情報
  - インターフェース / アドレスタイプ / IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイ / DNS 1、および DNS 2

5. "IPv6有効化設定" を "有効" にした場合は、"IPv6情報" を下記の画面から確認します。



RETURN ボタンを押すと、前画面に戻ります。

- 表示する情報
  - インターフェース / Link-Local Address / IP アドレス / Prefix / ゲートウェイ / DNS 1 / DNS 2

6. サブメニューの "接続テスト" からネットワークの接続テストを行います。

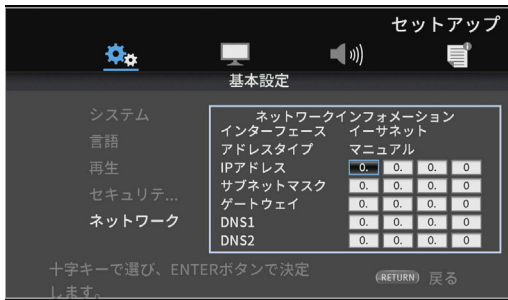
ネットワーク接続に問題がある場合、下記のメッセージを表示します。

- "Network FAILED" ネットワーク経路の問題
- "Proxy FAILED" プロキシ経路の問題

7. サブメニューの "IPv4設定" から IP アドレスの設定方法を選択できます。



- オート  
IP アドレスを DHCP サーバー経由で自動的に取得します。
- マニュアル(下記の設定画面参照)



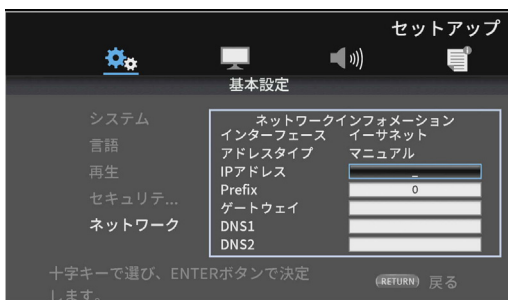
IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイ / DNS 1、および DNS 2の番号を数字ボタンで入力し、カーソルボタンで移動します。

操作途中でも RETURNボタンで前画面に戻ります。

"IPv6有効化設定"を"有効"にしている場合は"IPv6設定"からIPv6のIPアドレスの設定方法を選択できます。



- オート  
IP アドレスを DHCP サーバー経由で自動的に取得します。
- マニュアル(下記の設定画面参照)



IPアドレス/Prefix/ゲートウェイ/DNS1およびDNS2の番号を数字ボタンで入力し、カーソルボタンで移動します。

操作途中でも RETURNボタンで前画面に戻ります。

- サブメニューの「インターフェース」の設定で「ワイヤレス」を選択している場合、サブメニューの「Wireless Setting」を選択して、ワイヤレス接続の設定が行えます。(設定方法は、インターフェースの設定と同じです。)

## オプションメニュー



オプションメニューでは、設定メニューに入ることなく再生中に特定の設定を変更できます。オプションメニューは画面の左側に表示されます。使用可能なオプションは、現在使用しているメディアの種類に依存します。

ブルーレイディスクは [BDMV オプション]、DVD ディスクは [DVD Video オプション]、ビデオファイルは [動画オプション]、オーディオ CD は [オーディオ CD オプション]、オーディオファイルは [オーディオファイルオプション]、画像は画像ファイルオプションを参照してください。

オプションメニューの表示 / 非表示を切り換えるには、再生中にリモコンの **OPTION** ボタンを押します。

### オプションメニューの基本操作








- メニュー内を移動するには、[▽]/[△]カーソルボタンを使用します。現在の項目は青枠で囲まれて表示されます。
- メニュー項目の右側に矢印(▶)がある場合は、**ENTER**ボタンまたは [右]カーソルボタンを押して、追加オプションを含むサブメニューを開くことができます。
- サブメニューで、上下に矢印がある場合(▲▼)、[▽]/[△]カーソルボタンを使って前/次のオプションを選択できます。**ENTER**ボタンまたは [左]カーソルボタンを押すと、選択を確定してサブメニューが閉じます。
- アイテムの右側に矢印がない場合は、**ENTER**ボタンを押すとその機能を実行します。

## 基本設定

### BDMVオプション








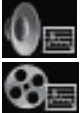
オプションメニュー名	選択項目	説明
 タイトル		再生中のタイトルを変更することができます。 左側の数字は現在再生中のタイトルです。右側の数字はタイトルの総数です。
 チャプター		再生中のチャプターを変更することができます。 左側の数字は現在再生中のチャプターです。右側の数字はチャプターの総数です。
 時間	時 : 分 : 秒	タイトルまたはチャプターの経過時間です。 タイトルの経過時間(TT)、タイトルの残り時間(-TT)、チャプターの経過時間(CH)、チャプターの残り時間(-CH)を切り換えて表示することができます。
	00 : 00 : 00	
 オーディオ	(ディスクによる)	オーディオの設定を変更することができます。 使用可能な設定は、ビデオでサポートされているオーディオ設定に依存します。たとえば、Blu-rayディスクでは DTS-HD MA(マスターオーディオ)または Dolby Digitalをさまざまな言語で選択できます。
 アンクル		カメラアングルを変更することができます。 左側の数字は現在のアングルです。右側の数字は利用可能なアングルの総数です。この機能は、複数のアングルを収録しているディスクでのみ使用できます。
 字幕	(ディスクによる)	字幕の表示を変更することができます。 利用可能な設定は、ビデオが対応している字幕言語によって異なります。
 サブタイトルスタイル	(ディスクによる)	字幕の表示スタイルを変更することができます。 利用可能な設定は、ビデオが対応している字幕言語によって異なります。







	第2ビデオ	オン*1/オフ	ピクチャー・イン・ピクチャー機能のオン/オフを切り換えます。 この機能を使用すると、通常画面の再生中に、小さな画面で追加のコンテンツを表示できます。 この機能は、対応するディスクでのみ使用できます。
	第2オーディオ	オン*1/オフ	ピクチャー・イン・ピクチャー機能で使用するオーディオのオン/オフを切り換えます。 この機能は、対応するディスクでのみ使用できます。
	ビットレート	-	現在のビットレートです。 ビデオまたはオーディオのビットレートを切り換えて表示することができます。
	スチルオフ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、ビデオの画像をオフにし、オーディオのみの再生を続けることができます。 この機能は、対応するディスクでのみ使用できます。
	インスタントサーチ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、30秒間早送りします。
	インスタントリプレイ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、10秒前に戻ります。
	CC Select	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Analog CC 1 - 4</li> <li>● オフ</li> </ul>	クローズドキャプションの設定を変更することができます。出荷時の設定は「オフ」です。

\* 1 表示する内容は、再生するディスクにより異なります。












#### DVD Videoオプション

オプションメニュー名	選択項目	説明
 タイトル		再生中のタイトルを変更することができます。 左側の数字は現在再生中のタイトルです。右側の数字はタイトルの総数です。
 チャプター		再生中のチャプターを変更することができます。 左側の数字は現在再生中のチャプターです。右側の数字はチャプターの総数です。
 時間	時 : 分 : 秒	タイトルまたはチャプターの経過時間です。 タイトルの経過時間(TT)、タイトルの残り時間(-TT)、チャプターの経過時間(CH)、チャプターの残り時間(-CH)を切り換えて表示することができます。
	00 : 00 : 00	
 モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ノーマル</li> <li>● シャッフルCH</li> <li>● シャッフルTT</li> <li>● シャッフルオール</li> <li>● ランダムCH</li> <li>● ランダムTT</li> <li>● ランダムオール</li> </ul>	ファイルの再生モードを変更することができます。
 オーディオ	(ディスクによる)	オーディオの設定を変更することができます。 使用可能な設定は、ビデオでサポートされているオーディオ設定に依存します。たとえば、Blu-rayディスクではDTS-HD MA(マスターオーディオ)またはDolby Digitalをさまざまな言語で選択できます。
 アンクル	-	カメラアングルを変更することができます。 左側の数字は現在のアングルです。右側の数字は利用可能なアングルの総数です。この機能は、複数のアングルを収録しているディスクでのみ使用できます。
 字幕	(ディスクによる)	字幕の表示を変更することができます。 利用可能な設定は、ビデオが対応している字幕言語によって異なります。
 ビットレート	-	現在のビットレートです。 ビデオまたはオーディオのビットレートを切り換えて表示することができます。







	スチルオフ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、ビデオの画像をオフにし、オーディオのみの再生を続けることができます。 この機能は、対応するディスクでのみ使用できます。
	インスタントサーチ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、30秒間早送りします。
	インスタントリプレイ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、10秒前に戻ります。
	CC Select	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Analog CC 1 - 4</li> <li>● オフ</li> </ul>	クローズドキャプションの設定を変更することができます。出荷時の設定は「オフ」です。

\* 1 表示する内容は、再生するディスクにより異なります。







## 動画オプション

オプションメニュー名	選択項目	説明	
 ファイル	-	再生中のファイルを変更することができます。 左側の数字は現在再生中のファイルです。右側の数字は、フォルダ内のビデオファイルの総数です。	
 タイトル	-	再生中のタイトルを変更することができます。 左側の数字は現在再生中のタイトルです。右側の数字はタイトルの総数です。	
 チャプター	-	再生中のチャプターを変更することができます。 左側の数字は現在再生中のチャプターです。右側の数字はチャプターの総数です。	
 時間	時 : 分 : 秒	タイトルまたはチャプターの経過時間です。 タイトルの経過時間(TT)、タイトルの残り時間(-TT)、チャプターの経過時間(CH)、チャプターの残り時間(-CH)を切り換えて表示することができます。	
	00 : 00 : 00		
 モード	ノーマル/ランダム/シャッフル	ファイルの再生モードを変更することができます。	
 オーディオ	(ファイルによる)	オーディオの設定を変更することができます。 使用可能な設定は、ビデオでサポートされているオーディオ設定に依存します。たとえば、ビデオファイルでは Stereo、Mono、Left または Right を選択できます。	
 字幕	(ファイルによる)	字幕の表示を変更することができます。 利用可能な設定は、ビデオが対応している字幕言語によって異なります。	
 コードページ	-	外部字幕のコードを切り換えることができます。	
 ビットレート	-	現在のビットレートです。 ビデオまたはオーディオのビットレートを切り換えて表示することができます。	
	インスタントサーチ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、30秒間早送りします。
	インスタントリプレイ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、10秒前に戻ります。





## オーディオCDオプション

オプションメニュー名	選択項目	説明
 トラック	-	再生中のトラックを変更することができます。 左側の数字は現在再生中のトラックです。右側の数字は、ディスクまたはプログラム内のトラックの総数です。
 時間	時 : 分 : 秒	トラックまたはディスクの経過時間です。 トラックの経過時間(Track)、Trackの残り時間(-Track)、ディスクの経過時間(Disc)、ディスクの残り時間(-Disc)を切り換えて表示することができます。
	00 : 00 : 00	
 モード	ノーマル/ランダム/シャッフル	ファイルの再生モードを変更することができます。
 ビットレート	-	オーディオの現在のビットレートです。
 インスタントサーチ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、30秒間早送りします。
 インスタントリプレイ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、10秒前に戻ります。

## オーディオファイルオプション

オプションメニュー名	選択項目	説明
 ファイル	-	再生中のファイルを変更することができます。 左側の数字は現在再生中のファイルです。右側の数字は、フォルダまたはプレイリスト内のオーディオファイルの総数です。
 時間	時 : 分 : 秒	ファイルの経過時間です。 ファイルの経過時間、またはファイルの残り時間を切り換えて表示することができます。
	00 : 00 : 00	
 モード	ノーマル/ランダム/シャッフル	ファイルの再生モードを変更することができます。
 ビットレート	-	オーディオの現在のビットレートです。
 インスタントサーチ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、30秒間早送りします。
 インスタントリプレイ	-	<b>ENTER</b> ボタンを押すと、10秒前に戻ります。

## 画像ファイルオプション

オプションメニュー名	選択項目	説明
 ファイル	-	表示中のファイルを変更することができます。 左側の数字は現在表示中のファイルです。右側の数字は、フォルダ内の画像ファイルの総数です。
 モード	ノーマル/ランダム/シャッフル	ファイルの表示モードを変更することができます。
 スライドショーレート	スロー / ミディアム / ファスト	スライドショーの表示速度を変更することができます。出荷時の設定は「ミディアム」です。
 トランジション	なし / ワイプ左 / ワイプ右 / ワイプ上 / ワイプ下 / ボックスイン / ボックスアウト / ブレンド / ディゾルブ / インターレース H / インターレース V / スプリットイン H / スプリットイン V / スプリットアウト H / スプリットアウト V	スライドショーで次の画像に遷移する方法を変更することができます。出荷時の設定は「なし」です。

## トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。  
それでも改善しないときは、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)にご連絡ください。

### 電源がオンにならない

- 電源プラグなどがしっかりと差し込まれているか確認してください。

### テレビの電源をオフにすると、本機の電源も自動的にオフになる(本機の電源をオンにすると、テレビの電源も自動的にオンになる)

- CECリンク機能対応テレビと組み合わせて、本機のCECリンク制御をONに設定しているときは、テレビの電源と本機の電源が連動して自動的にオン/オフします。(お使いのテレビによっては、自動的に電源がオンにならないものもあります。)

### 本体で操作できない

- ロック機能がオンになっていませんか?
- その操作が禁止されているときは、"**⓪**"またはメッセージが表示されます。

### 本機の設定画面やサブメニューが選べない/表示されない

- 設定や項目の操作ができないときは、選べない場合や、表示されない場合があります。

### ディスクトレイの開閉ができない

- 本体ソフトウェア(ファームウェア)更新中はディスクトレイの開閉ができません。
- 本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなることがあります。
- トレーロック機能がオンになっていませんか?

### ディスクを入れてから、しばらく操作ができない

- ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。

### SDカード/USBメモリーを認識しない

- SDカード/USBメモリーがしっかりと挿入されているか確認してください。
- 本機で対応しているSDカード/USB機器を接続していますか?
- SDカード/USBメモリーのフォーマット(ファイルシステム)を確認してください。
- 再生を一度停止してください。

### SDカード/USBメモリーをつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった

- SDカード/USBメモリーの再生中に接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。SDカード/USBメモリーを取り外して、再度接続してください。

### リモコン(RC-BDMP4K)から操作できない

- リモコンの電池が入っていないか、消耗していませんか?
- IRロック機能がオンになっていませんか?

### 再生画面が出ない

- テレビの入力切替が、本機を接続した入力に設定されていますか?
- 設定されている解像度で表示できない場合があります。リモコンのHDMIボタンを押して、解像度の設定を変更してください。
- モニターとHDMI AUDIO ONLY端子を繋いでいませんか?

### ディスクを再生できない

- 本機が対応しているディスクフォーマットであるかどうかを確認してください。

- ディスクに傷や汚れが付いていませんか?

### ディスクのファイルが再生できない

- ディスクがUDF、ISO9660またはJOLIETフォーマットで記録されたものであるかご確認ください
- 本機が対応しているファイルフォーマットであるかどうかを確認してください。

### 再生したいファイルが見つからない

- 最大ファイル数を超過していないかご確認ください。
- ファイルの拡張子を確認してください。

### 音が出ない

- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。

### 雑音がする

- 接続ケーブルが接触不良になっていないか、確認してください。

### 映像や音声が一時止まる

- 2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一時止まる場合があります。
- ディスクにキズがあったり、指紋などで汚れている場合は、正常に再生できない場合があります。

### 画面サイズがおかしい

- "TVスクリーン"をテレビの形状に合わせて選択していますか?
- ディスク側で画面サイズが指定されているときは、設定した画面サイズとは異なるサイズで表示されることがあります。

### "⓪"が表示される

- 再生中のコンテンツで禁止されている操作です。

### 再生中に操作ができない

- ディスクによっては操作を禁止している場合があります。
- ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどができない場合があります。

### タイトルを選択しても再生が始まらない

- 視聴制限によって再生を禁止している可能性があります。"視聴制限"の設定をご確認ください。

### HOME画面が表示されない

- HOMEボタンを押しても、HIDE MENU機能がオンになっているとHOME画面が表示されず、ブラック画面になります。HOME画面を表示させるには、本体、またはリモコンのHIDE MENUボタンを押して、HIDE MENU機能をオフにしてください。

### 4K画質が出ない

- モニターが再生したいフォーマットに対応していない、またはHDCP2.2に対応していない
- 対応したHDMIケーブルを使用していない。  
(4K 30pの再生にはハイスピードHDMIケーブルが、4K UHD BD、2160p 60Hzなどの高精細な映像を使用するときは18Gbps対応のプレミアムハイスピードHDMIケーブルが必要です。2160p 30Hzおよび3Dの映像を使用するには対応したモニターにハイスピードHDMIケーブルまたはプレミアムハイスピードHDMIケーブルで接続してください。)
- HDMI2.0およびHDCP2.2に対応していないAVアンプを通してモニターにつないでいる

### 再生中の映像が乱れる / 映らない / 色がおかしくなる

- 早送り / 早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。
- 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか？
- 本機が対応していないディスクや、異なるリージョンコードのディスクが入っていませんか？
- テレビは HDCP に対応していますか？
- 電源をオンにしたまま、HDMI ケーブルをテレビと本機から抜き差ししてみてください。
- 別の HDMI ケーブルに取り替えて、接続しなおしてください。
- "映像設定" の設定をご確認ください。

### 字幕が出ない

- 字幕情報がないタイトルについては、字幕を切り換えできません。

### AV アンプから音が出ない

- AV アンプの電源がオンになっているかご確認ください。
- AV アンプの出力が正しいかご確認ください。
- AV アンプがビットストリームまたは LPCM に対応しているかご確認ください。
- AV アンプの音量を調節してください。

### カメラアングルが切り換わらない

- 複数のアングルが記録されていない BD-Video または DVD-Video は、アングルを切り換えられません。
- カメラアングルが切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。

### ハイビジョン画質で見ることができない

- ハイビジョンで記録されたタイトルかご確認ください。
- 本機と接続しているテレビがハイビジョンに対応していますか？

### HDMI 機器制御が機能しない

- HDMI 機器制御は、本機と対応機器を組み合わせて、必要な設定を行っている場合だけ機能します。
- HDMI 機器制御が有効な状態で、本機の電源プラグや HDMI ケーブルを抜いた場合は、HDMI 機器制御が無効となります。

### ネットワークに接続できない

- モデムやルーターの電源がオンになっているか確認してください。
- モデムやルーターのインターネットランプが点灯しているか確認してください。
- 本機のネットワーク設定を確認してください。
- 本機とルーターが正しく接続できているか確認してください。
- ルーターの DHCP 機能を「入」に設定してください。

### パスワードを忘れた

- 忘れてしまった場合は、タスカム カスタマーサポート (巻末に記載) までお問い合わせください。

## 仕様

### 定格

#### 対応メディア

##### ディスクメディア

Blu-ray : 4K Ultra HD BD, BD25, BD50, BD-ROM, BD-R, BD-RE  
DVD : DVD-ROM, DVD-R, DVD-RW, DVD+R, DVD+RW  
CD : CD-DA, CD-R, CD-RW

##### ディスクフォーマット

Blu-ray : BDMV, BDAV  
DVD : DVD-Video, DVD-VR, AVCHD

##### ファイルフォーマット\*

ビデオ : ASF, MPG, AVI, 3GP, DAT, MKV, MOV, M2TS, OGM, TP, TS, MP4, WMV  
オーディオ : WAV, MP3, WMA, AAC, FLAC, APE  
静止画 : JPEG, GIF, PNG

\* USBメモリー /SDカードは、FAT16、FAT32、exFATまたはNTFSファイルシステムでフォーマットされている必要があります。

#### オーディオ

##### BD/DVD/USB/SD

サンプリング周波数 : 44.1 k/48 k/64 k/88.2 k/  
96 k/176.4 k/192 kHz  
ビット長 : 16/24 bit

##### CD

サンプリング周波数 : 44.1 k/48 kHz  
ビット長 : 16/24 bit

##### MP3/WMA

サンプリング周波数 : 32 k/44.1 k/48 kHz  
ビットレート  
MP3 : 112 kbps ~ 320 kbps  
WMA : 48 kbps ~ 192 kbps  
ver.9 standardのみ、DRM非対応

## 出力定格

### HDMI 出力

#### VIDEO/AUDIO端子

コネクター : HDMI 19pin Type A  
バージョン : 2.0  
解像度 : 480i/576i, 480p/576p, 720p, 1080i, 1080p, 2160p\*  
アスペクト比 : 16:9 Full, 16:9 Normal, 4:3 Pan & Scan, 4:3 Letterbox  
ビデオ方式 : NTSC, PAL, Multi  
HDMI カラースペース : RGB PC level, RGB Video level, YCbCr(4:4:4), YCbCr(4:2:2)  
\*2160pの出力には対応したモニターとケーブルが必要です。

#### AUDIO ONLY端子\*

コネクター : HDMI 19pin Type A  
バージョン : 1.4  
\*AUDIO ONLY端子からは映像の信号は出力されません。

### デジタルオーディオ出力

#### COAXIAL

コネクター : RCA ピンジャック  
フォーマット : IEC60958-3(S/PDIF)  
出カインピーダンス : 75 Ω

### アナログオーディオ出力

#### バランス

コネクター : XLR-3-32 (1:GND, 2:HOT, 3:COLD) x2 (ステレオ)  
規定出力レベル : +4 dBu (1.23 Vrms)  
最大出力レベル : +20 dBu (7.75 Vrms)  
出カインピーダンス : 200 Ω

#### アンバランス

コネクター : RCA ピンジャック x2 (ステレオ)  
規定出力レベル : -10 dBV (0.316 Vrms)  
最大出力レベル : +6 dBV (2.0 Vrms)  
出カインピーダンス : 200 Ω

#### 7.1 ch Audio outputs

コネクター : RCA x8 (FL/FR/SL/SR/SBL/SBR/C/SW)  
コネクター色 : FL, SL, SBL-白/FR, SR, SBR-赤/C, SW-黒  
規定出力レベル : -10 dBV (0.316 Vrms)  
最大出力レベル : +6 dBV (2.0 Vrms)  
出カインピーダンス : 200 Ω



---

## コントロール入出力定格

### RS-232C 端子

コネクタ : D-sub 9 pin  
フォーマット : RS-232C compliant

### ETHERNET 端子

コネクタ : RJ-45  
対応規格 : 10 BASE-T/100 BASE-TX/1000 BASE-T  
プロトコル : SMB1/CIFS ネットワークからの再生に使用  
TCP/IP 専用プロトコルによるコントロールに使用

### USB 端子

コネクタ : USB type-A  
プロトコル : USB 3.0 compliant  
電源定格 : DC 5 V, 1 A  
最大ストレージ容量 : 2TB  
ファイルフォーマット : FAT16/FAT32/exFAT/NTFS

### SD スロット

対応メディア : SD (512 MB - 2 GB)  
SDHC (4 GB - 32 GB)  
SDXC (64 GB - 512 GB)  
最大容量 : 最大 512 GB  
ファイルフォーマット : FAT16/FAT32/exFAT

---

## オーディオ特性

周波数特性 : 20 Hz~20 kHz +/-0.5 dB  
(Fs = 44.1 KHz/48 KHz, JEITA)  
S/N : > 96 dB (再生時, JEITA)  
歪率 : < 0.03% 1 kHz (JEITA)  
ダイナミックレンジ : > 96 dB (JEITA)  
チャンネルセパレーション : > 89 dB (JEITA)

---

## 一般

### 電源

AC100 - 240 V, 50 - 60 Hz

### 消費電力

30 W

### 外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行き、突起部を含む)

482.6 x 44 x 280.7 mm

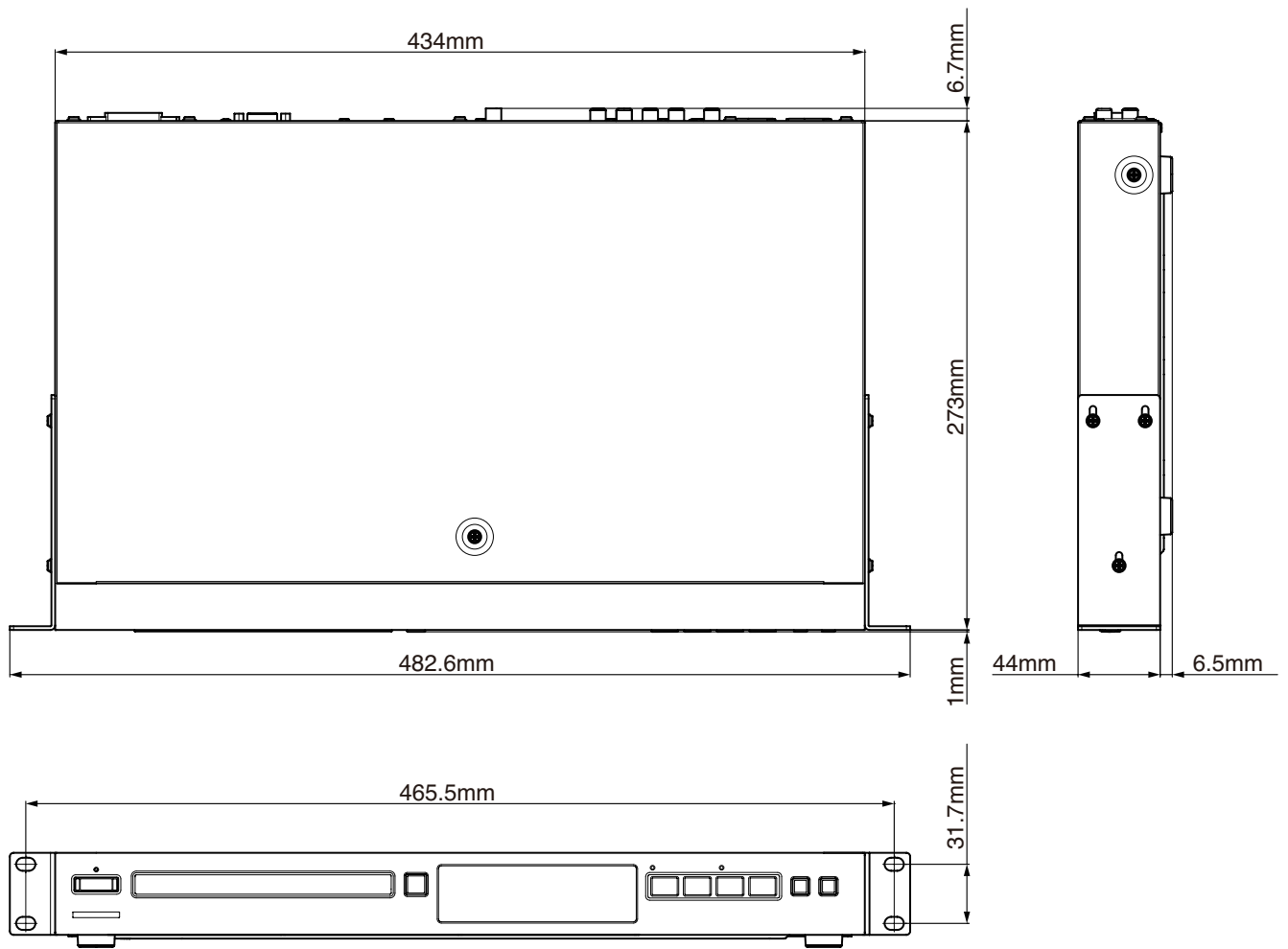
### 質量

2.78 kg

### 動作温度

5 ~ 35 °C

## 寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

---

## ソフトウェアなどに関する重要なお知らせ

---

### パッケージリスト

(GNU GPLv2)  
linux kernel

(GNU LGPLv2.1)  
DirectFB

---

### GNU GPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアで構成され、個々のソフトウェアは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品には、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License（以下、「GPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアを配布する条件として、当該ソフトウェアのソースコードの入手を可能にするように求めています。当該ソースコードの入手を希望される場合は、以下のURLにアクセスの上、登録フォームからご要求ください。

ホームページアドレス

<https://teac-global.com/support/opensource/form/>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、予め御了承ください。

「GPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL」に基づいて配布されるソフトウェアは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、「GPL」をお読みください。

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、HOME画面の**"設定"→"基本設定"→"システム"→"著作権"**に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。（ティアック以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。）





### 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
  - (1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (2)お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - (4)接続しているほかの機器に起因する故障および損傷

- (5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
- (6)メンテナンス
- (7)本書の提示がない場合
- (8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

\* この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

**ティアック株式会社** 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

**この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは**

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00/13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

**故障・修理や保守についてのお問い合わせは**

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in China

0423.MA-3200D

**保証書**

品名 および 形名	<b>BD-MP4K</b>	
機番		
保証期間	本体	1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	<b>見本</b>
	ご住所	

販売店	
電話	( )

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

**ティアック株式会社**

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

**ティアック修理センター**

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033/0570-000-501

